

0001前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「眼瞼炎では眼瞼縁の慢性炎症により発赤、痂皮、睫毛周囲の付着物、異物感などがみられる。」

ア．眼瞼炎の特徴

イ．霰粒腫を麦粒腫と区別

ウ．結膜炎で重症眼疾患を見分けられる

エ．再発性霰粒腫の注意点

0002前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「後部眼瞼炎ではマイボーム腺分泌異常が重要で、蒸発亢進型ドライアイや眼表面炎症につながる。」

ア．先天鼻涙管閉塞の症状

イ．再発性霰粒腫の注意点

ウ．後部眼瞼炎とMGD

エ．結膜炎で重症眼疾患を見分けられる

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「眼瞼炎の特徴」の要点を示している。眼瞼炎では眼瞼縁の慢性炎症により発赤、痂皮、睫毛周囲の付着物、異物感などがみられる。

イ：「霰粒腫を麦粒腫と区別」は別の論点である。主な要点は「霰粒腫は主にマイボーム腺閉塞に伴う慢性無菌性肉芽腫性炎症で、圧痛が乏しいことが多い。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「結膜炎で重症眼疾患を見分けられる」は別の論点である。主な要点は「結膜炎では通常、著明な視力低下や強い眼痛は乏しいため、これらがあれば視力を脅かす疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「再発性霰粒腫の注意点」は別の論点である。主な要点は「反復・非典型的な霰粒腫様病変では脂腺癌などの鑑別が重要となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「先天鼻涙管閉塞の症状」は別の論点である。主な要点は「涙液排出が障害されるため、乳児期から流涙や分泌物を呈しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「再発性霰粒腫の注意点」は別の論点である。主な要点は「反復・非典型的な霰粒腫様病変では脂腺癌などの鑑別が重要となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「後部眼瞼炎とMGD」の要点を示している。後部眼瞼炎ではマイボーム腺分泌異常が重要で、蒸発亢進型ドライアイや眼表面炎症につながる。

エ：「結膜炎で重症眼疾患を見分けられる」は別の論点である。主な要点は「結膜炎では通常、著明な視力低下や強い眼痛は乏しいため、これらがあれば視力を脅かす疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0003前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：標準

「眼瞼・涙器・結膜」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「霰粒腫は主にマイボーム腺閉塞に伴う慢性無菌性肉芽腫性炎症で、圧痛が乏しいことが多い。」

ア．先天鼻涙管閉塞の症状
イ．感染性結膜炎の院内感染対策
ウ．霰粒腫を麦粒腫と区別
エ．眼瞼炎の特徴

0004前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「悪性腫瘍など他疾患の可能性を考慮し、眼科医へ評価をつなぐ。反復・非典型的な霰粒腫様病変では脂腺癌などの鑑別が重要となる。」

ア．再発性霰粒腫の注意点
イ．後部眼瞼炎とMGD
ウ．結膜炎で重症眼疾患を見分けられる
エ．先天鼻涙管閉塞の症状

答え・解説 正答：ウ

ア：「先天鼻涙管閉塞の症状」は別の論点である。主な要点は「涙液排出が障害されるため、乳児期から流涙や分泌物を呈しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「感染性結膜炎の院内感染対策」は別の論点である。主な要点は「アデノウイルス性結膜炎は伝染性が高く、手指や機器を介した院内伝播を防ぐ必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「霰粒腫を麦粒腫と区別」の要点を示している。霰粒腫は主にマイボーム腺閉塞に伴う慢性無菌性肉芽腫性炎症で、圧痛が乏しいことが多い。
エ：「眼瞼炎の特徴」は別の論点である。主な要点は「眼瞼炎では眼瞼縁の慢性炎症により発赤、痂皮、睫毛周囲の付着物、異物感などがみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「再発性霰粒腫の注意点」の要点を示している。悪性腫瘍など他疾患の可能性を考慮し、眼科医へ評価をつなぐ。反復・非典型的な霰粒腫様病変では脂腺癌などの鑑別が重要となる。
イ：「後部眼瞼炎とMGD」は別の論点である。主な要点は「後部眼瞼炎ではマイボーム腺分泌異常が重要で、蒸発亢進型ドライアイや眼表面炎症につながる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「結膜炎で重症眼疾患を見分けられる」は別の論点である。主な要点は「結膜炎では通常、著明な視力低下や強い眼痛は乏しいため、これらがあれば視力を脅かす疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「先天鼻涙管閉塞の症状」は別の論点である。主な要点は「涙液排出が障害されるため、乳児期から流涙や分泌物を呈しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0005前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「涙液排出が障害されるため、乳児期から流涙や分泌物を呈しやすい。」

ア．後部眼瞼炎とMGD
イ．先天鼻涙管閉塞の症状
ウ．霰粒腫を麦粒腫と区別
エ．結膜炎で重症眼疾患を見分けられる

0006前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「涙嚢部の感染・炎症では内眼角付近に腫脹と圧痛を生じる。」

ア．再発性霰粒腫の注意点
イ．涙嚢炎の部位と症状
ウ．霰粒腫を麦粒腫と区別
エ．結膜炎で重症眼疾患を見分けられる

答え・解説 正答：イ

ア：「後部眼瞼炎とMGD」は別の論点である。主な要点は「後部眼瞼炎ではマイボーム腺分泌異常が重要で、蒸発亢進型ドライアイや眼表面炎症につながる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「先天鼻涙管閉塞の症状」の要点を示している。涙液排出が障害されるため、乳児期から流涙や分泌物を呈しやすい。
ウ：「霰粒腫を麦粒腫と区別」は別の論点である。主な要点は「霰粒腫は主にマイボーム腺閉塞に伴う慢性無菌性肉芽腫性炎症で、圧痛が乏しいことが多い。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「結膜炎で重症眼疾患を見分けられる」は別の論点である。主な要点は「結膜炎では通常、著明な視力低下や強い眼痛は乏しいため、これらがあれば視力を脅かす疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「再発性霰粒腫の注意点」は別の論点である。主な要点は「反復・非典型的な霰粒腫様病変では脂腺癌などの鑑別が重要となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「涙嚢炎の部位と症状」の要点を示している。涙嚢部の感染・炎症では内眼角付近に腫脹と圧痛を生じる。
ウ：「霰粒腫を麦粒腫と区別」は別の論点である。主な要点は「霰粒腫は主にマイボーム腺閉塞に伴う慢性無菌性肉芽腫性炎症で、圧痛が乏しいことが多い。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「結膜炎で重症眼疾患を見分けられる」は別の論点である。主な要点は「結膜炎では通常、著明な視力低下や強い眼痛は乏しいため、これらがあれば視力を脅かす疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0007前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「ウイルス性結膜炎では水様性眼脂、充血、異物感などが多く、アデノウイルスは代表的原因である。」

ア．霰粒腫を麦粒腫と区別

イ．ウイルス性結膜炎の特徴

ウ．後部眼瞼炎とMGD

エ．先天鼻涙管閉塞の症状

0008前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「強い眼掻痒感。アレルギー性結膜炎では掻痒感が重要な手掛かりで、両眼性の充血や流涙を伴うことが多い。」

ア．アレルギー性結膜炎の特徴

イ．霰粒腫を麦粒腫と区別

ウ．後部眼瞼炎とMGD

エ．先天鼻涙管閉塞の症状

答え・解説 正答：イ

ア：「霰粒腫を麦粒腫と区別」は別の論点である。主な要点は「霰粒腫は主にマイボーム腺閉塞に伴う慢性無菌性肉芽腫性炎症で、圧痛が乏しいことが多い。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「ウイルス性結膜炎の特徴」の要点を示している。ウイルス性結膜炎では水様性眼脂、充血、異物感などが多く、アデノウイルスは代表的原因である。

ウ：「後部眼瞼炎とMGD」は別の論点である。主な要点は「後部眼瞼炎ではマイボーム腺分泌異常が重要で、蒸発亢進型ドライアイや眼表面炎症につながる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「先天鼻涙管閉塞の症状」は別の論点である。主な要点は「涙液排出が障害されるため、乳児期から流涙や分泌物を呈しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「アレルギー性結膜炎の特徴」の要点を示している。強い眼掻痒感。アレルギー性結膜炎では掻痒感が重要な手掛かりで、両眼性の充血や流涙を伴うことが多い。

イ：「霰粒腫を麦粒腫と区別」は別の論点である。主な要点は「霰粒腫は主にマイボーム腺閉塞に伴う慢性無菌性肉芽腫性炎症で、圧痛が乏しいことが多い。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「後部眼瞼炎とMGD」は別の論点である。主な要点は「後部眼瞼炎ではマイボーム腺分泌異常が重要で、蒸発亢進型ドライアイや眼表面炎症につながる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「先天鼻涙管閉塞の症状」は別の論点である。主な要点は「涙液排出が障害されるため、乳児期から流涙や分泌物を呈しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0009前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「結膜炎では通常、著明な視力低下や強い眼痛は乏しいため、これらがあれば視力を脅かす疾患を除外する必要がある。」

ア．結膜炎で重症眼疾患を見分けられる

イ．再発性霰粒腫の注意点

ウ．後部眼瞼炎とMGD

エ．眼瞼炎の特徴

0010前眼部・水晶体・緑内障 > 眼瞼・涙器・結膜 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「アデノウイルス性結膜炎は伝染性が高く、手指や機器を介した院内伝播を防ぐ必要がある。」

ア．感染性結膜炎の院内感染対策

イ．霰粒腫を麦粒腫と区別

ウ．後部眼瞼炎とMGD

エ．先天鼻涙管閉塞の症状

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「結膜炎で重症眼疾患を見分けられる」の要点を示している。結膜炎では通常、著明な視力低下や強い眼痛は乏しいため、これらがあれば視力を脅かす疾患を除外する必要がある。

イ：「再発性霰粒腫の注意点」は別の論点である。主な要点は「反復・非典型的な霰粒腫様病変では脂腺癌などの鑑別が重要となる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「後部眼瞼炎とMGD」は別の論点である。主な要点は「後部眼瞼炎ではマイボーム腺分泌異常が重要で、蒸発亢進型ドライアイや眼表面炎症につながる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「眼瞼炎の特徴」は別の論点である。主な要点は「眼瞼炎では眼瞼縁の慢性炎症により発赤、痂皮、睫毛周囲の付着物、異物感などがみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「感染性結膜炎の院内感染対策」の要点を示している。アデノウイルス性結膜炎は伝染性が高く、手指や機器を介した院内伝播を防ぐ必要がある。

イ：「霰粒腫を麦粒腫と区別」は別の論点である。主な要点は「霰粒腫は主にマイボーム腺閉塞に伴う慢性無菌性肉芽腫性炎症で、圧痛が乏しいことが多い。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「後部眼瞼炎とMGD」は別の論点である。主な要点は「後部眼瞼炎ではマイボーム腺分泌異常が重要で、蒸発亢進型ドライアイや眼表面炎症につながる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「先天鼻涙管閉塞の症状」は別の論点である。主な要点は「涙液排出が障害されるため、乳児期から流涙や分泌物を呈しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼瞼・涙器・結膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0011

前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：標準

「角膜・強膜」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「角膜炎では角膜知覚神経への刺激と透明性低下により、疼痛・羞明・流涙・視力低下を来しやすい。」

ア．コンタクトレンズと角膜炎リスク
イ．感染性角膜炎の症状
ウ．強膜炎と上強膜炎
エ．角膜浮腫の見え方への影響

0012

前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「角膜上皮欠損に一致する実質浸潤と強い炎症。角膜潰瘍では上皮欠損と実質浸潤を伴い、前房炎症や膿瘍形成を生じることがある。」

ア．細菌性角膜潰瘍の所見
イ．強膜炎と上強膜炎
ウ．コンタクトレンズと角膜炎リスク
エ．アcantアメーバ角膜炎の特徴

答え・解説

正答：イ

ア：「コンタクトレンズと角膜炎リスク」は別の論点である。主な要点は「CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「感染性角膜炎の症状」の要点を示している。角膜炎では角膜知覚神経への刺激と透明性低下により、疼痛・羞明・流涙・視力低下を来しやすい。
ウ：「強膜炎と上強膜炎」は別の論点である。主な要点は「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「角膜浮腫の見え方への影響」は別の論点である。主な要点は「角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「細菌性角膜潰瘍の所見」の要点を示している。角膜上皮欠損に一致する実質浸潤と強い炎症。角膜潰瘍では上皮欠損と実質浸潤を伴い、前房炎症や膿瘍形成を生じることがある。
イ：「強膜炎と上強膜炎」は別の論点である。主な要点は「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「コンタクトレンズと角膜炎リスク」は別の論点である。主な要点は「CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「アcantアメーバ角膜炎の特徴」は別の論点である。主な要点は「アcantアメーバ角膜炎はCL関連でみられ、所見に比して強い疼痛が重要な手掛かりとなることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0013前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。」

ア．角膜浮腫の見え方への影響
イ．強膜炎と上強膜炎
ウ．細菌性角膜潰瘍の所見
エ．コンタクトレンズと角膜炎リスク

0014前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「HSV上皮性角膜炎では樹枝状潰瘍が代表的所見である。」

ア．強膜炎と上強膜炎
イ．コンタクトレンズと角膜炎リスク
ウ．HSV角膜炎の特徴
エ．角膜浮腫の見え方への影響

答え・解説正答：エ

ア：「角膜浮腫の見え方への影響」は別の論点である。主な要点は「角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「強膜炎と上強膜炎」は別の論点である。主な要点は「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「細菌性角膜潰瘍の所見」は別の論点である。主な要点は「角膜潰瘍では上皮欠損と実質浸潤を伴い、前房炎症や膿瘍形成を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「コンタクトレンズと角膜炎リスク」の要点を示している。CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説正答：ウ

ア：「強膜炎と上強膜炎」は別の論点である。主な要点は「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「コンタクトレンズと角膜炎リスク」は別の論点である。主な要点は「CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「HSV角膜炎の特徴」の要点を示している。HSV上皮性角膜炎では樹枝状潰瘍が代表的所見である。
エ：「角膜浮腫の見え方への影響」は別の論点である。主な要点は「角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0015前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「アカントアメーバ角膜炎はCL関連でみられ、所見に比して強い疼痛が重要な手掛かりとなることがある。」

ア．強膜炎と上強膜炎

イ．角膜浮腫の見え方への影響

ウ．アカントアメーバ角膜炎の特徴

エ．壊死性強膜炎の重症度

0016前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「角膜が菲薄化して前方へ円錐状に突出し、不正乱視を生じる。円錐角膜では角膜形状が非対称に突出し、進行性の近視・不正乱視や視力低下を来す。」

ア．強膜炎と上強膜炎

イ．コンタクトレンズと角膜炎リスク

ウ．壊死性強膜炎の重症度

エ．円錐角膜の特徴

答え・解説 正答：ウ

ア：「強膜炎と上強膜炎」は別の論点である。主な要点は「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「角膜浮腫の見え方への影響」は別の論点である。主な要点は「角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「アカントアメーバ角膜炎の特徴」の要点を示している。アカントアメーバ角膜炎はCL関連でみられ、所見に比して強い疼痛が重要な手掛かりとなることがある。

エ：「壊死性強膜炎の重症度」は別の論点である。主な要点は「壊死性強膜炎は強膜菲薄化や穿孔につながり得る重症病型で、全身疾患評価も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「強膜炎と上強膜炎」は別の論点である。主な要点は「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「コンタクトレンズと角膜炎リスク」は別の論点である。主な要点は「CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「壊死性強膜炎の重症度」は別の論点である。主な要点は「壊死性強膜炎は強膜菲薄化や穿孔につながり得る重症病型で、全身疾患評価も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「円錐角膜の特徴」の要点を示している。角膜が菲薄化して前方へ円錐状に突出し、不正乱視を生じる。円錐角膜では角膜形状が非対称に突出し、進行性の近視・不正乱視や視力低下を来す。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0017前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。」

ア．強膜炎と上強膜炎

イ．コンタクトレンズと角膜炎リスク

ウ．壊死性強膜炎の重症度

エ．角膜浮腫の見え方への影響

0018前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」

ア．角膜浮腫の見え方への影響

イ．細菌性角膜潰瘍の所見

ウ．強膜炎と上強膜炎

エ．円錐角膜の特徴

答え・解説 正答：エ

ア：「強膜炎と上強膜炎」は別の論点である。主な要点は「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「コンタクトレンズと角膜炎リスク」は別の論点である。主な要点は「CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「壊死性強膜炎の重症度」は別の論点である。主な要点は「壊死性強膜炎は強膜菲薄化や穿孔につながり得る重症病型で、全身疾患評価も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「角膜浮腫の見え方への影響」の要点を示している。角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「角膜浮腫の見え方への影響」は別の論点である。主な要点は「角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「細菌性角膜潰瘍の所見」は別の論点である。主な要点は「角膜潰瘍では上皮欠損と実質浸潤を伴い、前房炎症や膿瘍形成を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「強膜炎と上強膜炎」の要点を示している。強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。

エ：「円錐角膜の特徴」は別の論点である。主な要点は「円錐角膜では角膜形状が非対称に突出し、進行性の近視・不正乱視や視力低下を来す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0019前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：標準

「角膜・強膜」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「壊死性強膜炎は強膜菲薄化や穿孔につながり得る重症病型で、全身疾患評価も重要である。」

ア．コンタクトレンズと角膜炎リスク
イ．角膜浮腫の見え方への影響
ウ．壊死性強膜炎の重症度
エ．円錐角膜の特徴

0020前眼部・水晶体・緑内障 > 角膜・強膜 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「感染性角膜炎を疑い、速やかに眼科医へ報告して治療につなげる。感染性角膜炎は短期間で角膜潰瘍・穿孔へ進行し得るため、緊急性が高い。」

ア．強膜炎と上強膜炎
イ．角膜炎の緊急性
ウ．コンタクトレンズと角膜炎リスク
エ．角膜浮腫の見え方への影響

答え・解説 正答：ウ

ア：「コンタクトレンズと角膜炎リスク」は別の論点である。主な要点は「CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「角膜浮腫の見え方への影響」は別の論点である。主な要点は「角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「壊死性強膜炎の重症度」の要点を示している。壊死性強膜炎は強膜菲薄化や穿孔につながり得る重症病型で、全身疾患評価も重要である。
エ：「円錐角膜の特徴」は別の論点である。主な要点は「円錐角膜では角膜形状が非対称に突出し、進行性の近視・不正乱視や視力低下を来す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「強膜炎と上強膜炎」は別の論点である。主な要点は「強膜炎は深部炎症で疼痛が強く、全身性自己免疫疾患との関連も重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「角膜炎の緊急性」の要点を示している。感染性角膜炎を疑い、速やかに眼科医へ報告して治療につなげる。感染性角膜炎は短期間で角膜潰瘍・穿孔へ進行し得るため、緊急性が高い。
ウ：「コンタクトレンズと角膜炎リスク」は別の論点である。主な要点は「CL装用、とくに衛生不良や長時間・連続装用は感染性角膜炎の重要な危険因子である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「角膜浮腫の見え方への影響」は別の論点である。主な要点は「角膜透明性が低下すると光散乱が増え、かすみやグレアを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「角膜・強膜」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0021前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「白内障は水晶体透明性が低下する疾患で、光散乱や屈折変化により視機能が低下する。」

ア．白内障を定義
イ．急性閉塞隅角発作
ウ．閉塞隅角の危険因子
エ．開放隅角緑内障の特徴

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「白内障を定義」の要点を示している。白内障は水晶体透明性が低下する疾患で、光散乱や屈折変化により視機能が低下する。
イ：「急性閉塞隅角発作」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「閉塞隅角の危険因子」は別の論点である。主な要点は「解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「開放隅角緑内障の特徴」は別の論点である。主な要点は「POAGは慢性進行性の視神経症で、初期には無症状のことが多い。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0022前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「水晶体混濁は光散乱を増やし、視力低下だけでなく眩しさや見えにくさを生じる。」

ア．急性閉塞隅角発作
イ．白内障の症状
ウ．閉塞隅角の危険因子
エ．緑内障性視神経障害

答え・解説 正答：イ

ア：「急性閉塞隅角発作」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「白内障の症状」の要点を示している。水晶体混濁は光散乱を増やし、視力低下だけでなく眩しさや見えにくさを生じる。
ウ：「閉塞隅角の危険因子」は別の論点である。主な要点は「解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「緑内障性視神経障害」は別の論点である。主な要点は「緑内障では網膜神経節細胞・軸索が障害され、RNFL欠損や乳頭陥凹拡大がみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0023前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「核硬化では水晶体屈折率が変化し、近視方向へ屈折が変わることがある。」

ア．急性閉塞隅角発作

イ．閉塞隅角の危険因子

ウ．緑内障性視野障害

エ．核白内障の屈折変化

0024前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「開放隅角を保ちながら進行性視神経障害と視野障害を生じる。POAGは慢性進行性の視神経症で、初期には無症状のことが多い。」

ア．白内障を定義

イ．急性閉塞隅角発作

ウ．白内障と緑内障を症状から区別

エ．開放隅角緑内障の特徴

答え・解説 正答：エ

ア：「急性閉塞隅角発作」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「閉塞隅角の危険因子」は別の論点である。主な要点は「解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「緑内障性視野障害」は別の論点である。主な要点は「網膜神経線維束障害に沿ってBjerrum領域の弓状暗点や鼻側階段を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「核白内障の屈折変化」の要点を示している。核硬化では水晶体屈折率が変化し、近視方向へ屈折が変わることがある。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「白内障を定義」は別の論点である。主な要点は「白内障は水晶体透明性が低下する疾患で、光散乱や屈折変化により視機能が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「急性閉塞隅角発作」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「白内障と緑内障を症状から区別」は別の論点である。主な要点は「進行性のかすみ・グレアと水晶体混濁は白内障に典型的である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「開放隅角緑内障の特徴」の要点を示している。開放隅角を保ちながら進行性視神経障害と視野障害を生じる。POAGは慢性進行性の視神経症で、初期には無症状のことが多い。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0025前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「緑内障では網膜神経節細胞・軸索が障害され、RNFL欠損や乳頭陥凹拡大がみられる。」

ア．閉塞隅角の危険因子

イ．急性閉塞隅角発作

ウ．核白内障の屈折変化

エ．緑内障性視神経障害

0026前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「網膜神経線維束障害に沿ってBjerrum領域の弓状暗点や鼻側階段を生じることがある。」

ア．閉塞隅角の危険因子

イ．急性閉塞隅角発作

ウ．緑内障性視野障害

エ．核白内障の屈折変化

答え・解説 正答：エ

ア：「閉塞隅角の危険因子」は別の論点である。主な要点は「解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「急性閉塞隅角発作」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「核白内障の屈折変化」は別の論点である。主な要点は「核硬化では水晶体屈折率が変化し、近視方向へ屈折が変わることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「緑内障性視神経障害」の要点を示している。緑内障では網膜神経節細胞・軸索が障害され、RNFL欠損や乳頭陥凹拡大がみられる。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「閉塞隅角の危険因子」は別の論点である。主な要点は「解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「急性閉塞隅角発作」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「緑内障性視野障害」の要点を示している。網膜神経線維束障害に沿ってBjerrum領域の弓状暗点や鼻側階段を生じることがある。

エ：「核白内障の屈折変化」は別の論点である。主な要点は「核硬化では水晶体屈折率が変化し、近視方向へ屈折が変わることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0027前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：基礎

「水晶体・緑内障」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「緑内障診断は眼圧値だけでなく、特徴的な視神経・視野障害で判断する。」

ア．閉塞隅角の危険因子
イ．正常眼圧緑内障
ウ．急性閉塞隅角発作
エ．核白内障の屈折変化

0028前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「急性閉塞隅角緑内障。急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」

ア．白内障を定義
イ．白内障の症状
ウ．核白内障の屈折変化
エ．急性閉塞隅角発作

答え・解説 正答：イ

ア：「閉塞隅角の危険因子」は別の論点である。主な要点は「解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「正常眼圧緑内障」の要点を示している。緑内障診断は眼圧値だけでなく、特徴的な視神経・視野障害で判断する。
ウ：「急性閉塞隅角発作」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「核白内障の屈折変化」は別の論点である。主な要点は「核硬化では水晶体屈折率が変化し、近視方向へ屈折が変わることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「白内障を定義」は別の論点である。主な要点は「白内障は水晶体透明性が低下する疾患で、光散乱や屈折変化により視機能が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「白内障の症状」は別の論点である。主な要点は「水晶体混濁は光散乱を増やし、視力低下だけでなく眩しさや見えにくさを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「核白内障の屈折変化」は別の論点である。主な要点は「核硬化では水晶体屈折率が変化し、近視方向へ屈折が変わることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「急性閉塞隅角発作」の要点を示している。急性閉塞隅角緑内障。急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0029前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。」

ア．白内障を定義
イ．緑内障性視野障害
ウ．閉塞隅角の危険因子
エ．白内障と緑内障を症状から区別

答え・解説 正答：ウ

ア：「白内障を定義」は別の論点である。主な要点は「白内障は水晶体透明性が低下する疾患で、光散乱や屈折変化により視機能が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「緑内障性視野障害」は別の論点である。主な要点は「網膜神経線維束障害に沿ってBjerrum領域の弓状暗点や鼻側階段を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「閉塞隅角の危険因子」の要点を示している。解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。
エ：「白内障と緑内障を症状から区別」は別の論点である。主な要点は「進行性のかすみ・グレアと水晶体混濁は白内障に典型的である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0030前眼部・水晶体・緑内障 > 水晶体・緑内障 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「進行性のかすみ・グレアと水晶体混濁は白内障に典型的である。」

ア．閉塞隅角の危険因子
イ．急性閉塞隅角発作
ウ．白内障と緑内障を症状から区別
エ．核白内障の屈折変化

答え・解説 正答：ウ

ア：「閉塞隅角の危険因子」は別の論点である。主な要点は「解剖学的に前房が浅く隅角が狭い眼では虹彩と線維柱帯が接触しやすく、閉塞リスクが高い。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「急性閉塞隅角発作」は別の論点である。主な要点は「急性閉塞隅角では房水流出が急に遮断され、眼圧が急上昇して強い眼症状と全身症状を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「白内障と緑内障を症状から区別」の要点を示している。進行性のかすみ・グレアと水晶体混濁は白内障に典型的である。
エ：「核白内障の屈折変化」は別の論点である。主な要点は「核硬化では水晶体屈折率が変化し、近視方向へ屈折が変わることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「水晶体・緑内障」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0031

ぶどう膜・網膜・硝子体 > ぶどう膜疾患 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「前部ぶどう膜炎では毛様体・虹彩の炎症により眼痛、羞明、毛様充血、視力低下を生じやすい。」

ア．後癒着

イ．前房細胞とフレア

ウ．重症後部炎症の緊急性

エ．前部ぶどう膜炎の症状

0032

ぶどう膜・網膜・硝子体 > ぶどう膜疾患 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「前房細胞とフレア。細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。」

ア．後癒着

イ．後部ぶどう膜炎の視機能影響

ウ．ぶどう膜炎の合併症

エ．前房細胞とフレア

答え・解説

正答：エ

ア：「後癒着」は別の論点である。主な要点は「炎症により虹彩が水晶体へ癒着すると、瞳孔変形や瞳孔ブロックにつながることもある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「前房細胞とフレア」は別の論点である。主な要点は「細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「重症後部炎症の緊急性」は別の論点である。主な要点は「急性網膜壊死や眼内炎などは急速に視機能を損なう可能性があり、迅速な専門対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「前部ぶどう膜炎の症状」の要点を示している。前部ぶどう膜炎では毛様体・虹彩の炎症により眼痛、羞明、毛様充血、視力低下を生じやすい。

総合解説：この問題は「ぶどう膜疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「後癒着」は別の論点である。主な要点は「炎症により虹彩が水晶体へ癒着すると、瞳孔変形や瞳孔ブロックにつながることもある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「後部ぶどう膜炎の視機能影響」は別の論点である。主な要点は「後部ぶどう膜炎では網膜や脈絡膜の炎症、血管炎、黄斑浮腫などが中心視力へ影響する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「ぶどう膜炎の合併症」は別の論点である。主な要点は「慢性炎症や治療の影響で白内障、眼圧上昇・緑内障、黄斑浮腫などを生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「前房細胞とフレア」の要点を示している。前房細胞とフレア。細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。

総合解説：この問題は「ぶどう膜疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0033

ぶどう膜・網膜・硝子体 > ぶどう膜疾患 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「炎症により虹彩が水晶体へ癒着すると、瞳孔変形や瞳孔ブロックにつながるがある。」

ア．前部ぶどう膜炎の症状

イ．前房細胞とフレア

ウ．後癒着

エ．中間部ぶどう膜炎の主病変部位

0034

ぶどう膜・網膜・硝子体 > ぶどう膜疾患 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「中間部ぶどう膜炎は硝子体炎が目立ち、毛様体扁平部周辺に炎症所見を示す。」

ア．後癒着

イ．前房細胞とフレア

ウ．中間部ぶどう膜炎の主病変部位

エ．重症後部炎症の緊急性

答え・解説

正答：ウ

ア：「前部ぶどう膜炎の症状」は別の論点である。主な要点は「前部ぶどう膜炎では毛様体・虹彩の炎症により眼痛、羞明、毛様充血、視力低下を生じやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「前房細胞とフレア」は別の論点である。主な要点は「細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「後癒着」の要点を示している。炎症により虹彩が水晶体へ癒着すると、瞳孔変形や瞳孔ブロックにつながるがある。

エ：「中間部ぶどう膜炎の主病変部位」は別の論点である。主な要点は「中間部ぶどう膜炎は硝子体炎が目立ち、毛様体扁平部周辺に炎症所見を示す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ぶどう膜疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「後癒着」は別の論点である。主な要点は「炎症により虹彩が水晶体へ癒着すると、瞳孔変形や瞳孔ブロックにつながるがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「前房細胞とフレア」は別の論点である。主な要点は「細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「中間部ぶどう膜炎の主病変部位」の要点を示している。中間部ぶどう膜炎は硝子体炎が目立ち、毛様体扁平部周辺に炎症所見を示す。

エ：「重症後部炎症の緊急性」は別の論点である。主な要点は「急性網膜壊死や眼内炎などは急速に視機能を損なう可能性があり、迅速な専門対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ぶどう膜疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0035

ぶどう膜・網膜・硝子体 > ぶどう膜疾患 | 難易度：標準

「ぶどう膜疾患」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「後部ぶどう膜炎では網膜や脈絡膜の炎症、血管炎、黄斑浮腫などが中心視力へ影響する。」

ア．前房細胞とフレア

イ．後癒着

ウ．後部ぶどう膜炎の視機能影響

エ．重症後部炎症の緊急性

0036

ぶどう膜・網膜・硝子体 > ぶどう膜疾患 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「自己免疫疾患や感染症などの全身疾患に伴うことがあるため。ぶどう膜炎はサルコイドーシス、Behçet病、脊椎関節炎、感染症などと関連することがある。」

ア．ぶどう膜炎の全身疾患関連

イ．後癒着

ウ．前房細胞とフレア

エ．重症後部炎症の緊急性

答え・解説

正答：ウ

ア：「前房細胞とフレア」は別の論点である。主な要点は「細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「後癒着」は別の論点である。主な要点は「炎症により虹彩が水晶体へ癒着すると、瞳孔変形や瞳孔ブロックにつながる可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「後部ぶどう膜炎の視機能影響」の要点を示している。後部ぶどう膜炎では網膜や脈絡膜の炎症、血管炎、黄斑浮腫などが中心視力へ影響する。
エ：「重症後部炎症の緊急性」は別の論点である。主な要点は「急性網膜壊死や眼内炎などは急速に視機能を損なう可能性があり、迅速な専門対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ぶどう膜疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「ぶどう膜炎の全身疾患関連」の要点を示している。自己免疫疾患や感染症などの全身疾患に伴うことがあるため。ぶどう膜炎はサルコイドーシス、Behçet病、脊椎関節炎、感染症などと関連することがある。
イ：「後癒着」は別の論点である。主な要点は「炎症により虹彩が水晶体へ癒着すると、瞳孔変形や瞳孔ブロックにつながる可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「前房細胞とフレア」は別の論点である。主な要点は「細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「重症後部炎症の緊急性」は別の論点である。主な要点は「急性網膜壊死や眼内炎などは急速に視機能を損なう可能性があり、迅速な専門対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ぶどう膜疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0037ぶどう膜・網膜・硝子体 > ぶどう膜疾患 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどこか。
「慢性炎症や治療の影響で白内障、眼圧上昇・緑内障、黄斑浮腫などを生じ得る。」

ア．ぶどう膜炎の合併症
イ．前房細胞とフレア
ウ．後癒着
エ．重症後部炎症の緊急性

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「ぶどう膜炎の合併症」の要点を示している。慢性炎症や治療の影響で白内障、眼圧上昇・緑内障、黄斑浮腫などを生じ得る。
イ：「前房細胞とフレア」は別の論点である。主な要点は「細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「後癒着」は別の論点である。主な要点は「炎症により虹彩が水晶体へ癒着すると、瞳孔変形や瞳孔ブロックにつながることもある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「重症後部炎症の緊急性」は別の論点である。主な要点は「急性網膜壊死や眼内炎などは急速に視機能を損なう可能性があり、迅速な専門対応が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ぶどう膜疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0038ぶどう膜・網膜・硝子体 > ぶどう膜疾患 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「急性網膜壊死や眼内炎などは急速に視機能を損なう可能性があり、迅速な専門対応が必要である。」

ア．前房細胞とフレア
イ．重症後部炎症の緊急性
ウ．ぶどう膜炎の合併症
エ．前部ぶどう膜炎の症状

答え・解説 正答：イ

ア：「前房細胞とフレア」は別の論点である。主な要点は「細胞は前房内の炎症細胞、フレアは血液房水関門破綻による蛋白増加を反映する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「重症後部炎症の緊急性」の要点を示している。急性網膜壊死や眼内炎などは急速に視機能を損なう可能性があり、迅速な専門対応が必要である。
ウ：「ぶどう膜炎の合併症」は別の論点である。主な要点は「慢性炎症や治療の影響で白内障、眼圧上昇・緑内障、黄斑浮腫などを生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「前部ぶどう膜炎の症状」は別の論点である。主な要点は「前部ぶどう膜炎では毛様体・虹彩の炎症により眼痛、羞明、毛様充血、視力低下を生じやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「ぶどう膜疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0039ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「糖尿病網膜症では網膜毛細血管障害により毛細血管瘤が初期所見としてみられる。」

ア．NPDRとPDR

イ．CRAOの眼底所見

ウ．CRAOの症状

エ．糖尿病網膜症の初期病変

0040ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「網膜または視神経乳頭の新生血管。PDRでは網膜虚血によりVEGFが増加し、新生血管が形成される。」

ア．NPDRとPDR

イ．糖尿病黄斑浮腫

ウ．網膜静脈閉塞の危険因子

エ．糖尿病網膜症の経過観察意義

答え・解説 正答：エ

ア：「NPDRとPDR」は別の論点である。主な要点は「PDRでは網膜虚血によりVEGFが増加し、新生血管が形成される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「CRAOの眼底所見」は別の論点である。主な要点は「内網膜虚血で後極部が白濁し、薄い中心窩では脈絡膜色が透見され桜実紅斑を呈する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「CRAOの症状」は別の論点である。主な要点は「CRAOは内網膜の急性虚血を来し、突然の片眼視力低下として発症する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「糖尿病網膜症の初期病変」の要点を示している。糖尿病網膜症では網膜毛細血管障害により毛細血管瘤が初期所見としてみられる。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「NPDRとPDR」の要点を示している。網膜または視神経乳頭の新生血管。PDRでは網膜虚血によりVEGFが増加し、新生血管が形成される。

イ：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「網膜静脈閉塞の危険因子」は別の論点である。主な要点は「網膜静脈閉塞は加齢や血管危険因子、緑内障、凝固異常などと関連する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「糖尿病網膜症の経過観察意義」は別の論点である。主な要点は「糖尿病網膜症は初期には無症状でも進行し得るため、定期的な網膜評価が視力障害予防に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0041

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」

ア．NPDRとPDR

イ．糖尿病黄斑浮腫

ウ．網膜虚血と新生血管の関係

エ．BRVOの眼底分布

0042

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「低酸素状態はVEGF産生を促し、脆弱な新生血管形成を誘導する。」

ア．糖尿病黄斑浮腫

イ．CRAOの眼底所見

ウ．BRVOの眼底分布

エ．網膜虚血と新生血管の関係

答え・解説

正答：イ

ア：「NPDRとPDR」は別の論点である。主な要点は「PDRでは網膜虚血によりVEGFが増加し、新生血管が形成される。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「糖尿病黄斑浮腫」の要点を示している。毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。

ウ：「網膜虚血と新生血管の関係」は別の論点である。主な要点は「低酸素状態はVEGF産生を促し、脆弱な新生血管形成を誘導する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「BRVOの眼底分布」は別の論点である。主な要点は「BRVOでは動静脈交叉部付近の静脈閉塞により、その分枝領域へ限局した出血・浮腫がみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「CRAOの眼底所見」は別の論点である。主な要点は「内網膜虚血で後極部が白濁し、薄い中心窩では脈絡膜色が透見され桜実紅斑を呈する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「BRVOの眼底分布」は別の論点である。主な要点は「BRVOでは動静脈交叉部付近の静脈閉塞により、その分枝領域へ限局した出血・浮腫がみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「網膜虚血と新生血管の関係」の要点を示している。低酸素状態はVEGF産生を促し、脆弱な新生血管形成を誘導する。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0043

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：標準

「網膜血管障害・糖尿病網膜症」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「CRVOでは広範な静脈うっ滞によりいわゆるblood and thunder appearanceを呈する。」

ア．糖尿病黄斑浮腫
イ．CRVOの眼底所見
ウ．網膜虚血と新生血管の関係
エ．網膜静脈閉塞の危険因子

答え・解説

正答：イ

ア：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「CRVOの眼底所見」の要点を示している。CRVOでは広範な静脈うっ滞によりいわゆるblood and thunder appearanceを呈する。
ウ：「網膜虚血と新生血管の関係」は別の論点である。主な要点は「低酸素状態はVEGF産生を促し、脆弱な新生血管形成を誘導する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「網膜静脈閉塞の危険因子」は別の論点である。主な要点は「網膜静脈閉塞は加齢や血管危険因子、緑内障、凝固異常などと関連する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0044

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「閉塞した静脈の灌流領域に一致する区域性出血。BRVOでは動静脈交叉部付近の静脈閉塞により、その分枝領域へ限局した出血・浮腫がみられる。」

ア．糖尿病黄斑浮腫
イ．網膜虚血と新生血管の関係
ウ．BRVOの眼底分布
エ．糖尿病網膜症の経過観察意義

答え・解説

正答：ウ

ア：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「網膜虚血と新生血管の関係」は別の論点である。主な要点は「低酸素状態はVEGF産生を促し、脆弱な新生血管形成を誘導する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「BRVOの眼底分布」の要点を示している。閉塞した静脈の灌流領域に一致する区域性出血。BRVOでは動静脈交叉部付近の静脈閉塞により、その分枝領域へ限局した出血・浮腫がみられる。
エ：「糖尿病網膜症の経過観察意義」は別の論点である。主な要点は「糖尿病網膜症は初期には無症状でも進行し得るため、定期的な網膜評価が視力障害予防に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0045ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「CRAOは内網膜の急性虚血を来し、突然の片眼視力低下として発症する。」

ア．糖尿病黄斑浮腫
イ．CRAOの症状
ウ．糖尿病網膜症の初期病変
エ．糖尿病網膜症の経過観察意義

答え・解説 正答：イ

ア：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「CRAOの症状」の要点を示している。CRAOは内網膜の急性虚血を来し、突然の片眼視力低下として発症する。
ウ：「糖尿病網膜症の初期病変」は別の論点である。主な要点は「糖尿病網膜症では網膜毛細血管障害により毛細血管瘤が初期所見としてみられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「糖尿病網膜症の経過観察意義」は別の論点である。主な要点は「糖尿病網膜症は初期には無症状でも進行し得るため、定期的な網膜評価が視力障害予防に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0046ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「内網膜虚血で後極部が白濁し、薄い中心窩では脈絡膜色が透見され桜実紅斑を呈する。」

ア．糖尿病黄斑浮腫
イ．CRAOの眼底所見
ウ．糖尿病網膜症の初期病変
エ．網膜静脈閉塞の危険因子

答え・解説 正答：イ

ア：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「CRAOの眼底所見」の要点を示している。内網膜虚血で後極部が白濁し、薄い中心窩では脈絡膜色が透見され桜実紅斑を呈する。
ウ：「糖尿病網膜症の初期病変」は別の論点である。主な要点は「糖尿病網膜症では網膜毛細血管障害により毛細血管瘤が初期所見としてみられる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「網膜静脈閉塞の危険因子」は別の論点である。主な要点は「網膜静脈閉塞は加齢や血管危険因子、緑内障、凝固異常などと関連する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0047

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「CRAOは眼の脳卒中に相当する虚血性イベントとして、塞栓源・血管危険因子の評価が重要である。」

ア．糖尿病黄斑浮腫

イ．網膜静脈閉塞の危険因子

ウ．CRAOの緊急性

エ．網膜虚血と新生血管の関係

0048

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「高血圧、糖尿病、脂質異常症、緑内障など。網膜静脈閉塞は加齢や血管危険因子、緑内障、凝固異常などと関連する。」

ア．NPDRとPDR

イ．網膜静脈閉塞の危険因子

ウ．糖尿病黄斑浮腫

エ．CRAOの眼底所見

答え・解説

正答：ウ

ア：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「網膜静脈閉塞の危険因子」は別の論点である。主な要点は「網膜静脈閉塞は加齢や血管危険因子、緑内障、凝固異常などと関連する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「CRAOの緊急性」の要点を示している。CRAOは眼の脳卒中に相当する虚血性イベントとして、塞栓源・血管危険因子の評価が重要である。
エ：「網膜虚血と新生血管の関係」は別の論点である。主な要点は「低酸素状態はVEGF産生を促し、脆弱な新生血管形成を誘導する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「NPDRとPDR」は別の論点である。主な要点は「PDRでは網膜虚血によりVEGFが増加し、新生血管が形成される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「網膜静脈閉塞の危険因子」の要点を示している。高血圧、糖尿病、脂質異常症、緑内障など。網膜静脈閉塞は加齢や血管危険因子、緑内障、凝固異常などと関連する。
ウ：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「CRAOの眼底所見」は別の論点である。主な要点は「内網膜虚血で後極部が白濁し、薄い中心窩では脈絡膜色が透見され桜実紅斑を呈する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0049ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「虚血型では網膜虚血が強く、VEGF増加により虹彩・隅角新生血管や新生血管緑内障を生じ得る。」

ア．糖尿病黄斑浮腫
イ．網膜静脈閉塞の危険因子
ウ．糖尿病網膜症の経過観察意義
エ．虚血型CRVOの重症度

0050ぶどう膜・網膜・硝子体 > 網膜血管障害・糖尿病網膜症 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「糖尿病網膜症は初期には無症状でも進行し得るため、定期的な網膜評価が視力障害予防に重要である。」

ア．NPDRとPDR
イ．BRVOの眼底分布
ウ．虚血型CRVOの重症度
エ．糖尿病網膜症の経過観察意義

答え・解説 正答：エ

ア：「糖尿病黄斑浮腫」は別の論点である。主な要点は「毛細血管透過性亢進により黄斑に液体が貯留すると中心視力が低下する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「網膜静脈閉塞の危険因子」は別の論点である。主な要点は「網膜静脈閉塞は加齢や血管危険因子、緑内障、凝固異常などと関連する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「糖尿病網膜症の経過観察意義」は別の論点である。主な要点は「糖尿病網膜症は初期には無症状でも進行し得るため、定期的な網膜評価が視力障害予防に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「虚血型CRVOの重症度」の要点を示している。虚血型では網膜虚血が強く、VEGF増加により虹彩・隅角新生血管や新生血管緑内障を生じ得る。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「NPDRとPDR」は別の論点である。主な要点は「PDRでは網膜虚血によりVEGFが増加し、新生血管が形成される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「BRVOの眼底分布」は別の論点である。主な要点は「BRVOでは動静脈交叉部付近の静脈閉塞により、その分枝領域へ限局した出血・浮腫がみられる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「虚血型CRVOの重症度」は別の論点である。主な要点は「虚血型では網膜虚血が強く、VEGF増加により虹彩・隅角新生血管や新生血管緑内障を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「糖尿病網膜症の経過観察意義」の要点を示している。糖尿病網膜症は初期には無症状でも進行し得るため、定期的な網膜評価が視力障害予防に重要である。

総合解説：この問題は「網膜血管障害・糖尿病網膜症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0051

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：標準

「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「AMDは黄斑を障害するため読書や顔認識など中心視に大きな影響を与える。」

ア．裂孔原性網膜剥離

イ．AMDの主な視機能障害

ウ．牽引性網膜剥離

エ．網膜色素変性の初期症状

0052

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「網膜色素上皮とBruch膜の間に蓄積する細胞外沈着物。drusenはAMDの代表的眼底所見で、RPE下の沈着物として観察される。」

ア．網膜色素変性の初期症状

イ．後部硝子体剥離の症状

ウ．drusen

エ．網膜色素変性の視野変化

答え・解説

正答：イ

ア：「裂孔原性網膜剥離」は別の論点である。主な要点は「裂孔原性では網膜breakを通して液体が網膜下腔へ流入する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「AMDの主な視機能障害」の要点を示している。AMDは黄斑を障害するため読書や顔認識など中心視に大きな影響を与える。

ウ：「牽引性網膜剥離」は別の論点である。主な要点は「糖尿病網膜症などで形成された線維血管増殖膜の収縮により網膜が牽引される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「網膜色素変性の初期症状」は別の論点である。主な要点は「杆体機能が先に障害されることが多く、暗所で見えにくい夜盲が初期症状となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「網膜色素変性の初期症状」は別の論点である。主な要点は「杆体機能が先に障害されることが多く、暗所で見えにくい夜盲が初期症状となる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「後部硝子体剥離の症状」は別の論点である。主な要点は「硝子体の後部剥離時に網膜牽引が生じると閃光を感じ、硝子体混濁を飛蚊症として自覚する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「drusen」の要点を示している。網膜色素上皮とBruch膜の間に蓄積する細胞外沈着物。drusenはAMDの代表的眼底所見で、RPE下の沈着物として観察される。

エ：「網膜色素変性の視野変化」は別の論点である。主な要点は「中間周辺部の杆体障害から視野欠損が拡大し、トンネル視野となることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0053

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。」

ア．網膜色素変性の初期症状
イ．後部硝子体剥離の症状
ウ．滲出型AMD
エ．網膜色素変性の視野変化

答え・解説

正答：ウ

ア：「網膜色素変性の初期症状」は別の論点である。主な要点は「杆体機能が先に障害されることが多く、暗所で見えにくい夜盲が初期症状となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「後部硝子体剥離の症状」は別の論点である。主な要点は「硝子体の後部剥離時に網膜牽引が生じると閃光を感じ、硝子体混濁を飛蚊症として自覚する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「滲出型AMD」の要点を示している。滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。
エ：「網膜色素変性の視野変化」は別の論点である。主な要点は「中間周辺部の杆体障害から視野欠損が拡大し、トンネル視野となることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0054

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「杆体機能が先に障害されることが多く、暗所で見えにくい夜盲が初期症状となる。」

ア．drusen
イ．滲出型AMD
ウ．網膜色素変性の初期症状
エ．AMDの主な視機能障害

答え・解説

正答：ウ

ア：「drusen」は別の論点である。主な要点は「drusenはAMDの代表的眼底所見で、RPE下の沈着物として観察される。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「滲出型AMD」は別の論点である。主な要点は「滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「網膜色素変性の初期症状」の要点を示している。杆体機能が先に障害されることが多く、暗所で見えにくい夜盲が初期症状となる。
エ：「AMDの主な視機能障害」は別の論点である。主な要点は「AMDは黄斑を障害するため読書や顔認識など中心視に大きな影響を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0055

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：応用

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「中間周辺部の杆体障害から視野欠損が拡大し、トンネル視野となることがある。」

ア．網膜色素変性の視野変化

イ．滲出型AMD

ウ．drusen

エ．後部硝子体剥離の症状

0056

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「網膜裂孔から液化硝子体が網膜下へ入り、神経網膜がRPEから剥離する。裂孔原性では網膜breakを通して液体が網膜下腔へ流入する。」

ア．裂孔原性網膜剥離

イ．AMDの主な視機能障害

ウ．滲出型AMD

エ．drusen

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「網膜色素変性の視野変化」の要点を示している。中間周辺部の杆体障害から視野欠損が拡大し、トンネル視野となることがある。

イ：「滲出型AMD」は別の論点である。主な要点は「滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「drusen」は別の論点である。主な要点は「drusenはAMDの代表的眼底所見で、RPE下の沈着物として観察される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「後部硝子体剥離の症状」は別の論点である。主な要点は「硝子体の後部剥離時に網膜牽引が生じると閃光を感じ、硝子体混濁を飛蚊症として自覚する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「裂孔原性網膜剥離」の要点を示している。網膜裂孔から液化硝子体が網膜下へ入り、神経網膜がRPEから剥離する。裂孔原性では網膜breakを通して液体が網膜下腔へ流入する。

イ：「AMDの主な視機能障害」は別の論点である。主な要点は「AMDは黄斑を障害するため読書や顔認識など中心視に大きな影響を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「滲出型AMD」は別の論点である。主な要点は「滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「drusen」は別の論点である。主な要点は「drusenはAMDの代表的眼底所見で、RPE下の沈着物として観察される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0057

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。

「PVDに伴う網膜裂孔から剥離が進行すると、飛蚊症・光視症に続いて視野欠損が出現する。」

ア．網膜剥離の症状

イ．滲出型AMD

ウ．drusen

エ．AMDの主な視機能障害

0058

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。

「糖尿病網膜症などで形成された線維血管増殖膜の収縮により網膜が牽引される。」

ア．AMDの主な視機能障害

イ．drusen

ウ．滲出型AMD

エ．牽引性網膜剥離

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「網膜剥離の症状」の要点を示している。PVDに伴う網膜裂孔から剥離が進行すると、飛蚊症・光視症に続いて視野欠損が出現する。

イ：「滲出型AMD」は別の論点である。主な要点は「滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「drusen」は別の論点である。主な要点は「drusenはAMDの代表的眼底所見で、RPE下の沈着物として観察される。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「AMDの主な視機能障害」は別の論点である。主な要点は「AMDは黄斑を障害するため読書や顔認識など中心視に大きな影響を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「AMDの主な視機能障害」は別の論点である。主な要点は「AMDは黄斑を障害するため読書や顔認識など中心視に大きな影響を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「drusen」は別の論点である。主な要点は「drusenはAMDの代表的眼底所見で、RPE下の沈着物として観察される。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「滲出型AMD」は別の論点である。主な要点は「滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「牽引性網膜剥離」の要点を示している。糖尿病網膜症などで形成された線維血管増殖膜の収縮により網膜が牽引される。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0059

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：応用

「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「硝子体の後部剥離時に網膜牽引が生じると閃光を感じ、硝子体混濁を飛蚊症として自覚する。」

ア．滲出型AMD

イ．PVDで網膜裂孔リスク

ウ．後部硝子体剥離の症状

エ．drusen

0060

ぶどう膜・網膜・硝子体 > 黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「網膜裂孔の合併率が高まるため周辺網膜を十分に評価する。PVDに硝子体出血を伴うと網膜裂孔合併の可能性が高く、散瞳下周辺網膜評価が重要である。」

ア．後部硝子体剥離の症状

イ．AMDの主な視機能障害

ウ．滲出型AMD

エ．PVDで網膜裂孔リスク

答え・解説

正答：ウ

ア：「滲出型AMD」は別の論点である。主な要点は「滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「PVDで網膜裂孔リスク」は別の論点である。主な要点は「PVDに硝子体出血を伴うと網膜裂孔合併の可能性が高く、散瞳下周辺網膜評価が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「後部硝子体剥離の症状」の要点を示している。硝子体の後部剥離時に網膜牽引が生じると閃光を感じ、硝子体混濁を飛蚊症として自覚する。

エ：「drusen」は別の論点である。主な要点は「drusenはAMDの代表的眼底所見で、RPE下の沈着物として観察される。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「後部硝子体剥離の症状」は別の論点である。主な要点は「硝子体の後部剥離時に網膜牽引が生じると閃光を感じ、硝子体混濁を飛蚊症として自覚する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「AMDの主な視機能障害」は別の論点である。主な要点は「AMDは黄斑を障害するため読書や顔認識など中心視に大きな影響を与える。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「滲出型AMD」は別の論点である。主な要点は「滲出型では異常新生血管から液体や血液が漏れ、黄斑構造を急速に障害する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「PVDで網膜裂孔リスク」の要点を示している。網膜裂孔の合併率が高まるため周辺網膜を十分に評価する。PVDに硝子体出血を伴うと網膜裂孔合併の可能性が高く、散瞳下周辺網膜評価が重要である。

総合解説：この問題は「黄斑疾患・網膜変性・網膜剥離・硝子体」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0061

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「視神経炎では数時間～数日で進む視力低下、眼球運動時痛、色覚脱失・中心暗点などが典型的である。」

ア．視神経炎の典型症状
イ．偽性うっ血乳頭
ウ．うっ血乳頭を定義
エ．後頭葉病変の視野特徴

0062

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「視神経炎ではdyschromatopsiaが特徴的で、赤の彩度低下などを自覚することがある。」

ア．視神経炎の色覚異常
イ．うっ血乳頭を定義
ウ．偽性うっ血乳頭
エ．うっ血乳頭の全身症状

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視神経炎の典型症状」の要点を示している。視神経炎では数時間～数日で進む視力低下、眼球運動時痛、色覚脱失・中心暗点などが典型的である。
イ：「偽性うっ血乳頭」は別の論点である。主な要点は「乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「うっ血乳頭を定義」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「後頭葉病変の視野特徴」は別の論点である。主な要点は「片側後頭葉は反対側半視野の視覚情報を処理するため、障害で同名半盲となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視神経炎の色覚異常」の要点を示している。視神経炎ではdyschromatopsiaが特徴的で、赤の彩度低下などを自覚することがある。
イ：「うっ血乳頭を定義」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「偽性うっ血乳頭」は別の論点である。主な要点は「乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「うっ血乳頭の全身症状」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭では頭痛、悪心、拍動性耳鳴、一過性視覚消失などを伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0063

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「片眼の網膜・視神経からの求心入力が低下すると、左右交互照射で患眼刺激時の縮瞳反応が相対的に弱くなる。」

ア．うっ血乳頭を定義

イ．RAPDと視神経障害

ウ．うっ血乳頭の全身症状

エ．偽性うっ血乳頭

0064

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「頭蓋内圧亢進により生じた視神経乳頭浮腫。うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」

ア．視神経炎の色覚異常

イ．RAPDと視神経障害

ウ．視交叉障害の視野パターン

エ．うっ血乳頭を定義

答え・解説

正答：イ

ア：「うっ血乳頭を定義」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「RAPDと視神経障害」の要点を示している。片眼の網膜・視神経からの求心入力低下すると、左右交互照射で患眼刺激時の縮瞳反応が相対的に弱くなる。

ウ：「うっ血乳頭の全身症状」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭では頭痛、悪心、拍動性耳鳴、一過性視覚消失などを伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「偽性うっ血乳頭」は別の論点である。主な要点は「乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「視神経炎の色覚異常」は別の論点である。主な要点は「視神経炎ではdyschromatopsiaが特徴的で、赤の彩度低下などを自覚することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「RAPDと視神経障害」は別の論点である。主な要点は「片眼の網膜・視神経からの求心入力低下すると、左右交互照射で患眼刺激時の縮瞳反応が相対的に弱くなる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視交叉障害の視野パターン」は別の論点である。主な要点は「視交叉では両眼の鼻側網膜線維が交叉するため、中央部障害で両耳側視野が失われやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「うっ血乳頭を定義」の要点を示している。頭蓋内圧亢進により生じた視神経乳頭浮腫。うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0065

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「うっ血乳頭では頭痛、悪心、拍動性耳鳴、一過性視覚消失などを伴うことがある。」

ア．RAPDと視神経障害

イ．視神経疾患の機能評価を組み合わせられる

ウ．うっ血乳頭の全身症状

エ．動脈炎性AIONの緊急性

0066

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「NAIONは視神経乳頭前部の虚血で、しばしば起床時に気付く無痛性視力低下として発症する。」

ア．偽性うっ血乳頭

イ．うっ血乳頭を定義

ウ．NAIONの特徴

エ．視神経疾患の機能評価を組み合わせられる

答え・解説

正答：ウ

ア：「RAPDと視神経障害」は別の論点である。主な要点は「片眼の網膜・視神経からの求心入力が低下すると、左右交互照射で患眼刺激時の縮瞳反応が相対的に弱くなる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視神経疾患の機能評価を組み合わせられる」は別の論点である。主な要点は「視神経疾患は中心視力だけでは評価しきれず、色覚・瞳孔・視野・構造検査を統合する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「うっ血乳頭の全身症状」の要点を示している。うっ血乳頭では頭痛、悪心、拍動性耳鳴、一過性視覚消失などを伴うことがある。

エ：「動脈炎性AIONの緊急性」は別の論点である。主な要点は「GCA関連AIONは反対眼にも急速に及ぶ危険があり、緊急の全身評価・治療が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「偽性うっ血乳頭」は別の論点である。主な要点は「乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「うっ血乳頭を定義」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「NAIONの特徴」の要点を示している。NAIONは視神経乳頭前部の虚血で、しばしば起床時に気付く無痛性視力低下として発症する。

エ：「視神経疾患の機能評価を組み合わせられる」は別の論点である。主な要点は「視神経疾患は中心視力だけでは評価しきれず、色覚・瞳孔・視野・構造検査を統合する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0067

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：基礎

「視神経・視路疾患」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「GCA関連AIONは反対眼にも急速に及ぶ危険があり、緊急の全身評価・治療が必要である。」

ア．うっ血乳頭を定義
イ．視神経疾患の機能評価を組み合わせられる
ウ．動脈炎性AIONの緊急性
エ．視索以降の病変と同名半盲

0068

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「両耳側半盲。視交叉では両眼の鼻側網膜線維が交叉するため、中央部障害で両耳側視野が失われやすい。」

ア．視交叉障害の視野パターン
イ．うっ血乳頭を定義
ウ．偽性うっ血乳頭
エ．動脈炎性AIONの緊急性

答え・解説

正答：ウ

ア：「うっ血乳頭を定義」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「視神経疾患の機能評価を組み合わせられる」は別の論点である。主な要点は「視神経疾患は中心視力だけでは評価しきれず、色覚・瞳孔・視野・構造検査を統合する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「動脈炎性AIONの緊急性」の要点を示している。GCA関連AIONは反対眼にも急速に及ぶ危険があり、緊急の全身評価・治療が必要である。
エ：「視索以降の病変と同名半盲」は別の論点である。主な要点は「左視索には両眼の右視野情報が通るため、障害で右同名性欠損が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「視交叉障害の視野パターン」の要点を示している。両耳側半盲。視交叉では両眼の鼻側網膜線維が交叉するため、中央部障害で両耳側視野が失われやすい。
イ：「うっ血乳頭を定義」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「偽性うっ血乳頭」は別の論点である。主な要点は「乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「動脈炎性AIONの緊急性」は別の論点である。主な要点は「GCA関連AIONは反対眼にも急速に及ぶ危険があり、緊急の全身評価・治療が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0069

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「左視索には両眼の右視野情報が通るため、障害で右同名性欠損が生じる。」

ア．うっ血乳頭を定義

イ．視索以降の病変と同名半盲

ウ．偽性うっ血乳頭

エ．動脈炎性AIONの緊急性

0070

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「片側後頭葉は反対側半視野の視覚情報を処理するため、障害で同名半盲となる。」

ア．視神経疾患の機能評価を組み合わせられる

イ．動脈炎性AIONの緊急性

ウ．後頭葉病変の視野特徴

エ．うっ血乳頭を定義

答え・解説

正答：イ

ア：「うっ血乳頭を定義」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「視索以降の病変と同名半盲」の要点を示している。左視索には両眼の右視野情報が通るため、障害で右同名性欠損が生じる。

ウ：「偽性うっ血乳頭」は別の論点である。主な要点は「乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「動脈炎性AIONの緊急性」は別の論点である。主な要点は「GCA関連AIONは反対眼にも急速に及ぶ危険があり、緊急の全身評価・治療が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「視神経疾患の機能評価を組み合わせられる」は別の論点である。主な要点は「視神経疾患は中心視力だけでは評価しきれず、色覚・瞳孔・視野・構造検査を統合する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「動脈炎性AIONの緊急性」は別の論点である。主な要点は「GCA関連AIONは反対眼にも急速に及ぶ危険があり、緊急の全身評価・治療が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「後頭葉病変の視野特徴」の要点を示している。片側後頭葉は反対側半視野の視覚情報を処理するため、障害で同名半盲となる。

エ：「うっ血乳頭を定義」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭は原因を問わない乳頭浮腫全般ではなく、頭蓋内圧亢進による乳頭浮腫を指す。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0071

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。」

ア．RAPDと視神経障害

イ．視交叉障害の視野パターン

ウ．偽性うっ血乳頭

エ．視索以降の病変と同名半盲

0072

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 視神経・視路疾患 | 難易度：応用

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「色覚、RAPD、視野、OCTによるRNFL/GCC評価。視神経疾患は中心視力だけでは評価しきれず、色覚・瞳孔・視野・構造検査を統合する必要がある。」

ア．偽性うっ血乳頭

イ．うっ血乳頭の全身症状

ウ．後頭葉病変の視野特徴

エ．視神経疾患の機能評価を組み合わせられる

答え・解説

正答：ウ

ア：「RAPDと視神経障害」は別の論点である。主な要点は「片眼の網膜・視神経からの求心入力が低下すると、左右交互照射で患眼刺激時の縮瞳反応が相対的に弱くなる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視交叉障害の視野パターン」は別の論点である。主な要点は「視交叉では両眼の鼻側網膜線維が交叉するため、中央部障害で両耳側視野が失われやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「偽性うっ血乳頭」の要点を示している。乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。

エ：「視索以降の病変と同名半盲」は別の論点である。主な要点は「左視索には両眼の右視野情報が通るため、障害で右同名性欠損が生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「偽性うっ血乳頭」は別の論点である。主な要点は「乳頭ドルーゼンでは構造的隆起により乳頭浮腫様に見えるが、真の浮腫とは病態・緊急性が異なる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「うっ血乳頭の全身症状」は別の論点である。主な要点は「うっ血乳頭では頭痛、悪心、拍動性耳鳴、一過性視覚消失などを伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「後頭葉病変の視野特徴」は別の論点である。主な要点は「片側後頭葉は反対側半視野の視覚情報を処理するため、障害で同名半盲となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「視神経疾患の機能評価を組み合わせられる」の要点を示している。色覚、RAPD、視野、OCTによるRNFL/GCC評価。視神経疾患は中心視力だけでは評価しきれず、色覚・瞳孔・視野・構造検査を統合する必要がある。

総合解説：この問題は「視神経・視路疾患」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0073

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 瞳孔異常 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「生理的瞳孔不同は小さな左右差で、照度による差の変化が乏しく、他の神経学的異常を伴わないことが多い。」

ア．Adie tonic pupil

イ．圧迫性動眼神経麻痺の緊急性

ウ．薬物性散瞳

エ．生理的瞳孔不同

0074

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 瞳孔異常 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「交感神経障害で瞳孔散大筋の働きが低下し、患側が小さく、暗所で散瞳遅延が目立つ。」

ア．圧迫性動眼神経麻痺の緊急性

イ．薬物性散瞳

ウ．Horner症候群の瞳孔所見

エ．Adie tonic pupil

答え・解説

正答：エ

ア：「Adie tonic pupil」は別の論点である。主な要点は「Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「圧迫性動眼神経麻痺の緊急性」は別の論点である。主な要点は「瞳孔を巻き込む急性III神経麻痺は動脈瘤など生命に関わる圧迫病変の可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「薬物性散瞳」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン薬は瞳孔括約筋と毛様体筋の副交感作用を遮断する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「生理的瞳孔不同」の要点を示している。生理的瞳孔不同は小さな左右差で、照度による差の変化が乏しく、他の神経学的異常を伴わないことが多い。

総合解説：この問題は「瞳孔異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「圧迫性動眼神経麻痺の緊急性」は別の論点である。主な要点は「瞳孔を巻き込む急性III神経麻痺は動脈瘤など生命に関わる圧迫病変の可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「薬物性散瞳」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン薬は瞳孔括約筋と毛様体筋の副交感作用を遮断する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「Horner症候群の瞳孔所見」の要点を示している。交感神経障害で瞳孔散大筋の働きが低下し、患側が小さく、暗所で散瞳遅延が目立つ。

エ：「Adie tonic pupil」は別の論点である。主な要点は「Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0075

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 瞳孔異常 | 難易度：標準

「瞳孔異常」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「動眼神経副交感線維障害により瞳孔括約筋への入力が低下し、散瞳・対光反射低下を生じる。」

ア．動眼神経麻痺の瞳孔所見

イ．Adie tonic pupil

ウ．明暗条件で異常瞳孔を推定

エ．RAPDと瞳孔不同

0076

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 瞳孔異常 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「後交通動脈瘤など圧迫性動眼神経麻痺を疑い緊急画像評価につなげる。瞳孔を巻き込む急性Ⅲ神経麻痺は動脈瘤など生命に関わる圧迫病変の可能性がある。」

ア．Adie tonic pupil

イ．圧迫性動眼神経麻痺の緊急性

ウ．明暗条件で異常瞳孔を推定

エ．RAPDと瞳孔不同

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「動眼神経麻痺の瞳孔所見」の要点を示している。動眼神経副交感線維障害により瞳孔括約筋への入力低下し、散瞳・対光反射低下を生じる。

イ：「Adie tonic pupil」は別の論点である。主な要点は「Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「明暗条件で異常瞳孔を推定」は別の論点である。主な要点は「明所では正常瞳孔は縮瞳するため、左右差が増えるなら大きい側の縮瞳障害を考える。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「RAPDと瞳孔不同」は別の論点である。主な要点は「RAPDは左右の求心性入力差を示すため、静止時の瞳孔径が同じでもswinging flashlight testで検出できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：イ

ア：「Adie tonic pupil」は別の論点である。主な要点は「Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「圧迫性動眼神経麻痺の緊急性」の要点を示している。後交通動脈瘤など圧迫性動眼神経麻痺を疑い緊急画像評価につなげる。瞳孔を巻き込む急性Ⅲ神経麻痺は動脈瘤など生命に関わる圧迫病変の可能性がある。

ウ：「明暗条件で異常瞳孔を推定」は別の論点である。主な要点は「明所では正常瞳孔は縮瞳するため、左右差が増えるなら大きい側の縮瞳障害を考える。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「RAPDと瞳孔不同」は別の論点である。主な要点は「RAPDは左右の求心性入力差を示すため、静止時の瞳孔径が同じでもswinging flashlight testで検出できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0077 神経眼科・眼窩・瞳孔 > 瞳孔異常 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。」

ア．Adie tonic pupil
イ．生理的瞳孔不同
ウ．明暗条件で異常瞳孔を推定
エ．圧迫性動眼神経麻痺の緊急性

0078 神経眼科・眼窩・瞳孔 > 瞳孔異常 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「抗ムスカリン薬は瞳孔括約筋と毛様体筋の副交感作用を遮断する。」

ア．薬物性散瞳
イ．Adie tonic pupil
ウ．圧迫性動眼神経麻痺の緊急性
エ．Horner症候群の瞳孔所見

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「Adie tonic pupil」の要点を示している。Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。
イ：「生理的瞳孔不同」は別の論点である。主な要点は「生理的瞳孔不同は小さな左右差で、照度による差の変化が乏しく、他の神経学的異常を伴わないことが多い。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「明暗条件で異常瞳孔を推定」は別の論点である。主な要点は「明所では正常瞳孔は縮瞳するため、左右差が増えるなら大きい側の縮瞳障害を考える。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「圧迫性動眼神経麻痺の緊急性」は別の論点である。主な要点は「瞳孔を巻き込む急性III神経麻痺は動脈瘤など生命に関わる圧迫病変の可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「薬物性散瞳」の要点を示している。抗ムスカリン薬は瞳孔括約筋と毛様体筋の副交感作用を遮断する。
イ：「Adie tonic pupil」は別の論点である。主な要点は「Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「圧迫性動眼神経麻痺の緊急性」は別の論点である。主な要点は「瞳孔を巻き込む急性III神経麻痺は動脈瘤など生命に関わる圧迫病変の可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「Horner症候群の瞳孔所見」は別の論点である。主な要点は「交感神経障害で瞳孔散大筋の働きが低下し、患側が小さく、暗所で散瞳遅延が目立つ。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0079 神経眼科・眼窩・瞳孔 > 瞳孔異常 | 難易度：基礎

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「明所では正常瞳孔は縮瞳するため、左右差が増えるなら大きい側の縮瞳障害を考える。」

ア．Adie tonic pupil
イ．圧迫性動眼神経麻痺の緊急性
ウ．薬物性散瞳
エ．明暗条件で異常瞳孔を推定

答え・解説 正答：エ

ア：「Adie tonic pupil」は別の論点である。主な要点は「Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「圧迫性動眼神経麻痺の緊急性」は別の論点である。主な要点は「瞳孔を巻き込む急性III神経麻痺は動脈瘤など生命に関わる圧迫病変の可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「薬物性散瞳」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン薬は瞳孔括約筋と毛様体筋の副交感作用を遮断する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「明暗条件で異常瞳孔を推定」の要点を示している。明所では正常瞳孔は縮瞳するため、左右差が増えるなら大きい側の縮瞳障害を考える。

総合解説：この問題は「瞳孔異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0080 神経眼科・眼窩・瞳孔 > 瞳孔異常 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「瞳孔径の左右差がなくても存在し得る。RAPDは左右の求心性入力差を示すため、静止時の瞳孔径が同じでもswinging flashlight testで検出できる。」

ア．圧迫性動眼神経麻痺の緊急性
イ．RAPDと瞳孔不同
ウ．薬物性散瞳
エ．Adie tonic pupil

答え・解説 正答：イ

ア：「圧迫性動眼神経麻痺の緊急性」は別の論点である。主な要点は「瞳孔を巻き込む急性III神経麻痺は動脈瘤など生命に関わる圧迫病変の可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「RAPDと瞳孔不同」の要点を示している。瞳孔径の左右差がなくても存在し得る。RAPDは左右の求心性入力差を示すため、静止時の瞳孔径が同じでもswinging flashlight testで検出できる。

ウ：「薬物性散瞳」は別の論点である。主な要点は「抗ムスカリン薬は瞳孔括約筋と毛様体筋の副交感作用を遮断する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Adie tonic pupil」は別の論点である。主な要点は「Adie瞳孔では副交感神経節後線維障害により、光反応より近見反応が良好なことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「瞳孔異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0081

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「甲状腺眼症では眼窩組織の自己免疫性炎症により眼瞼後退、眼球突出、外眼筋腫大・複視などを生じる。」

ア．金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由
イ．甲状腺眼症の特徴
ウ．外傷性視神経症を疑う所見
エ．眼窩蜂窩織炎の緊急性

0082

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「眼窩尖端部で腫大外眼筋が視神経を圧迫すると、視力・色覚低下やRAPDを来し得る。」

ア．甲状腺眼症の視機能を脅かす合併症
イ．blowout fractureの特徴
ウ．眼窩蜂窩織炎
エ．金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由

答え・解説

正答：イ

ア：「金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由」は別の論点である。主な要点は「金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「甲状腺眼症の特徴」の要点を示している。甲状腺眼症では眼窩組織の自己免疫性炎症により眼瞼後退、眼球突出、外眼筋腫大・複視などを生じる。
ウ：「外傷性視神経症を疑う所見」は別の論点である。主な要点は「視神経管周囲の衝撃などで視神経が障害されると、眼底初期所見が乏しくても視力低下・色覚低下・RAPDを生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「眼窩蜂窩織炎の緊急性」は別の論点である。主な要点は「眼窩蜂窩織炎は視神経障害、海綿静脈洞血栓症、頭蓋内感染へ進展し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「甲状腺眼症の視機能を脅かす合併症」の要点を示している。眼窩尖端部で腫大外眼筋が視神経を圧迫すると、視力・色覚低下やRAPDを来し得る。
イ：「blowout fractureの特徴」は別の論点である。主な要点は「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「眼窩蜂窩織炎」は別の論点である。主な要点は「眼窩蜂窩織炎は眼窩隔膜後方の感染で、眼球運動痛・突出・眼筋麻痺が重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由」は別の論点である。主な要点は「金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0083

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：標準

「眼窩疾患・眼外傷」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。

「眼窩蜂窩織炎は眼窩隔膜後方の感染で、眼球運動痛・突出・眼筋麻痺が重要所見である。」

ア．外傷性視神経症を疑う所見

イ．blowout fractureの特徴

ウ．眼窩蜂窩織炎

エ．甲状腺眼症の視機能を脅かす合併症

0084

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。

「眼窩蜂窩織炎を疑い、速やかに画像・抗菌治療を含む専門対応につなげる。眼窩蜂窩織炎は視神経障害、海綿静脈洞血栓症、頭蓋内感染へ進展し得る。」

ア．blowout fractureの特徴

イ．外傷性視神経症を疑う所見

ウ．金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由

エ．眼窩蜂窩織炎の緊急性

答え・解説

正答：ウ

ア：「外傷性視神経症を疑う所見」は別の論点である。主な要点は「視神経周囲の衝撃などで視神経が障害されると、眼底初期所見が乏しくても視力低下・色覚低下・RAPDを生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「blowout fractureの特徴」は別の論点である。主な要点は「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「眼窩蜂窩織炎」の要点を示している。眼窩蜂窩織炎は眼窩隔膜後方の感染で、眼球運動痛・突出・眼筋麻痺が重要所見である。

エ：「甲状腺眼症の視機能を脅かす合併症」は別の論点である。主な要点は「眼窩尖端部で腫大外眼筋が視神経を圧迫すると、視力・色覚低下やRAPDを来し得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「blowout fractureの特徴」は別の論点である。主な要点は「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「外傷性視神経症を疑う所見」は別の論点である。主な要点は「視神経周囲の衝撃などで視神経が障害されると、眼底初期所見が乏しくても視力低下・色覚低下・RAPDを生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由」は別の論点である。主な要点は「金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼窩蜂窩織炎の緊急性」の要点を示している。眼窩蜂窩織炎を疑い、速やかに画像・抗菌治療を含む専門対応につなげる。眼窩蜂窩織炎は視神経障害、海綿静脈洞血栓症、頭蓋内感染へ進展し得る。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0085

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」

ア．blowout fractureの特徴

イ．外傷性視神経症を疑う所見

ウ．眼窩蜂窩織炎

エ．金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由

0086

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「CTは眼窩骨と軟部組織、放射線不透過性異物を迅速に評価でき、急性眼外傷の主要画像法である。」

ア．眼窩骨折の画像検査

イ．外傷性視神経症を疑う所見

ウ．blowout fractureの特徴

エ．金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「blowout fractureの特徴」の要点を示している。眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。

イ：「外傷性視神経症を疑う所見」は別の論点である。主な要点は「視神経管周囲の衝撃などで視神経が障害されると、眼底初期所見が乏しくても視力低下・色覚低下・RAPDを生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼窩蜂窩織炎」は別の論点である。主な要点は「眼窩蜂窩織炎は眼窩隔膜後方の感染で、眼球運動痛・突出・眼筋麻痺が重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由」は別の論点である。主な要点は「金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「眼窩骨折の画像検査」の要点を示している。CTは眼窩骨と軟部組織、放射線不透過性異物を迅速に評価でき、急性眼外傷の主要画像法である。

イ：「外傷性視神経症を疑う所見」は別の論点である。主な要点は「視神経管周囲の衝撃などで視神経が障害されると、眼底初期所見が乏しくても視力低下・色覚低下・RAPDを生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「blowout fractureの特徴」は別の論点である。主な要点は「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由」は別の論点である。主な要点は「金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0087

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。」

ア．blowout fractureの特徴

イ．金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由

ウ．眼窩骨折の画像検査

エ．甲状腺眼症の特徴

0088

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「眼球を圧迫せず保護し、接触眼圧測定を避けて緊急眼科対応につなげる。開放性眼球損傷では眼内容脱出を悪化させないよう圧迫・操作を避け、緊急手術を含む評価が必要である。」

ア．外傷性視神経症を疑う所見

イ．金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由

ウ．blowout fractureの特徴

エ．開放性眼球損傷の初期対応

答え・解説

正答：イ

ア：「blowout fractureの特徴」は別の論点である。主な要点は「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由」の要点を示している。金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。

ウ：「眼窩骨折の画像検査」は別の論点である。主な要点は「CTは眼窩骨と軟部組織、放射線不透過性異物を迅速に評価でき、急性眼外傷の主要画像法である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「甲状腺眼症の特徴」は別の論点である。主な要点は「甲状腺眼症では眼窩組織の自己免疫性炎症により眼瞼後退、眼球突出、外眼筋腫大・複視などを生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「外傷性視神経症を疑う所見」は別の論点である。主な要点は「視神経管周囲の衝撃などで視神経が障害されると、眼底初期所見が乏しくても視力低下・色覚低下・RAPDを生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由」は別の論点である。主な要点は「金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「blowout fractureの特徴」は別の論点である。主な要点は「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「開放性眼球損傷の初期対応」の要点を示している。眼球を圧迫せず保護し、接触眼圧測定を避けて緊急眼科対応につなげる。開放性眼球損傷では眼内容脱出を悪化させないよう圧迫・操作を避け、緊急手術を含む評価が必要である。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0089

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「化学眼外傷では原因物質の除去が最優先で、特にアルカリは組織深部へ浸透しやすいため迅速な洗眼が重要である。」

ア．金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由

イ．blowout fractureの特徴

ウ．眼窩蜂窩織炎

エ．化学眼外傷の初期対応

0090

神経眼科・眼窩・瞳孔 > 眼窩疾患・眼外傷 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「視神経管周囲の衝撃などで視神経が障害されると、眼底初期所見が乏しくても視力低下・色覚低下・RAPDを生じ得る。」

ア．外傷性視神経症を疑う所見

イ．眼窩蜂窩織炎

ウ．眼窩骨折の画像検査

エ．blowout fractureの特徴

答え・解説

正答：エ

ア：「金属眼内異物疑いでMRIを避ける理由」は別の論点である。主な要点は「金属性異物疑いではまずCT等で評価し、MRIの安全性を確認する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「blowout fractureの特徴」は別の論点である。主な要点は「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼窩蜂窩織炎」は別の論点である。主な要点は「眼窩蜂窩織炎は眼窩隔膜後方の感染で、眼球運動痛・突出・眼筋麻痺が重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「化学眼外傷の初期対応」の要点を示している。化学眼外傷では原因物質の除去が最優先で、特にアルカリは組織深部へ浸透しやすいため迅速な洗眼が重要である。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「外傷性視神経症を疑う所見」の要点を示している。視神経管周囲の衝撃などで視神経が障害されると、眼底初期所見が乏しくても視力低下・色覚低下・RAPDを生じ得る。

イ：「眼窩蜂窩織炎」は別の論点である。主な要点は「眼窩蜂窩織炎は眼窩隔膜後方の感染で、眼球運動痛・突出・眼筋麻痺が重要所見である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「眼窩骨折の画像検査」は別の論点である。主な要点は「CTは眼窩骨と軟部組織、放射線不透過性異物を迅速に評価でき、急性眼外傷の主要画像法である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「blowout fractureの特徴」は別の論点である。主な要点は「眼窩底骨折では下直筋周囲組織の嵌頓により上転制限や複視を来し、後に眼球陥凹を生じ得る。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼窩疾患・眼外傷」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0091 斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：標準

「斜視」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「斜視では一眼または交互の眼が注視目標から外れ、両眼の視軸が一致しない。」

ア．斜視を定義
イ．調節性内斜視の初期対応
ウ．調節性内斜視の機序
エ．非共同性斜視の特徴

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「斜視を定義」の要点を示している。斜視では一眼または交互の眼が注視目標から外れ、両眼の視軸が一致しない。
イ：「調節性内斜視の初期対応」は別の論点である。主な要点は「遠視矯正で調節要求と調節性輻湊が減少し、内斜視が改善する場合は調節性要素が強い。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「調節性内斜視の機序」は別の論点である。主な要点は「未矯正遠視では明視のため調節が増え、それに連動する輻湊が過剰となり内斜視を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「非共同性斜視の特徴」は別の論点である。主な要点は「外眼筋麻痺や眼窩拘束性病変では注視方向で偏位量が変わり、非共同性となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0092 斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「内斜視では眼球が鼻側へ、外斜視では耳側へ偏位する。」

ア．非共同性斜視の特徴
イ．斜視治療の目的
ウ．斜視を定義
エ．内斜視と外斜視

答え・解説 正答：エ

ア：「非共同性斜視の特徴」は別の論点である。主な要点は「外眼筋麻痺や眼窩拘束性病変では注視方向で偏位量が変わり、非共同性となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「斜視治療の目的」は別の論点である。主な要点は「斜視治療は屈折矯正、弱視治療、プリズム、手術などを組み合わせ、機能と生活の質を改善する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「斜視を定義」は別の論点である。主な要点は「斜視では一眼または交互の眼が注視目標から外れ、両眼の視軸が一致しない。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「内斜視と外斜視」の要点を示している。内斜視では眼球が鼻側へ、外斜視では耳側へ偏位する。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0093

斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどこか。
「共同性斜視では各注視方向で偏位量が比較的一定で、小児発症の斜視などでみられる。」

ア．共同性斜視
イ．斜視と弱視の関係
ウ．斜視治療の目的
エ．内斜視と外斜視

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「共同性斜視」の要点を示している。共同性斜視では各注視方向で偏位量が比較的一定で、小児発症の斜視などでみられる。
イ：「斜視と弱視の関係」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に一眼が恒常的に偏位すると、その眼の像が抑制され視力発達が妨げられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「斜視治療の目的」は別の論点である。主な要点は「斜視治療は屈折矯正、弱視治療、プリズム、手術などを組み合わせ、機能と生活の質を改善する。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「内斜視と外斜視」は別の論点である。主な要点は「内斜視では眼球が鼻側へ、外斜視では耳側へ偏位する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0094

斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「外眼筋麻痺や眼窩拘束性病変では注視方向で偏位量が変わり、非共同性となる。」

ア．内斜視と外斜視
イ．斜視を定義
ウ．非共同性斜視の特徴
エ．斜視と弱視の関係

答え・解説

正答：ウ

ア：「内斜視と外斜視」は別の論点である。主な要点は「内斜視では眼球が鼻側へ、外斜視では耳側へ偏位する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「斜視を定義」は別の論点である。主な要点は「斜視では一眼または交互の眼が注視目標から外れ、両眼の視軸が一致しない。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「非共同性斜視の特徴」の要点を示している。外眼筋麻痺や眼窩拘束性病変では注視方向で偏位量が変わり、非共同性となる。
エ：「斜視と弱視の関係」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に一眼が恒常的に偏位すると、その眼の像が抑制され視力発達が妨げられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0095 斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。

「未矯正遠視では明視のため調節が増え、それに連動する輻湊が過剰となり内斜視を生じることがある。」

ア．斜視を定義

イ．斜視と弱視の関係

ウ．調節性内斜視の機序

エ．内斜視と外斜視

0096 斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。

「調節性内斜視。遠視矯正で調節要求と調節性輻湊が減少し、内斜視が改善する場合は調節性要素が強い。」

ア．斜視を定義

イ．調節性内斜視の初期対応

ウ．斜視治療の目的

エ．間欠性外斜視

答え・解説 正答：ウ

ア：「斜視を定義」は別の論点である。主な要点は「斜視では一眼または交互の眼が注視目標から外れ、両眼の視軸が一致しない。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「斜視と弱視の関係」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に一眼が恒常的に偏位すると、その眼の像が抑制され視力発達が妨げられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「調節性内斜視の機序」の要点を示している。未矯正遠視では明視のため調節が増え、それに連動する輻湊が過剰となり内斜視を生じることがある。

エ：「内斜視と外斜視」は別の論点である。主な要点は「内斜視では眼球が鼻側へ、外斜視では耳側へ偏位する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「斜視を定義」は別の論点である。主な要点は「斜視では一眼または交互の眼が注視目標から外れ、両眼の視軸が一致しない。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「調節性内斜視の初期対応」の要点を示している。調節性内斜視。遠視矯正で調節要求と調節性輻湊が減少し、内斜視が改善する場合は調節性要素が強い。

ウ：「斜視治療の目的」は別の論点である。主な要点は「斜視治療は屈折矯正、弱視治療、プリズム、手術などを組み合わせ、機能と生活の質を改善する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「間欠性外斜視」は別の論点である。主な要点は「間欠性外斜視では外方偏位傾向を融像で補い、状況により顕在化する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0097 斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：基礎

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「間欠性外斜視では外方偏位傾向を融像で補い、状況により顕在化する。」

ア．斜視と弱視の関係

イ．間欠性外斜視

ウ．斜視治療の目的

エ．調節性内斜視の初期対応

答え・解説 正答：イ

ア：「斜視と弱視の関係」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に一眼が恒常的に偏位すると、その眼の像が抑制され視力発達が妨げられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「間欠性外斜視」の要点を示している。間欠性外斜視では外方偏位傾向を融像で補い、状況により顕在化する。

ウ：「斜視治療の目的」は別の論点である。主な要点は「斜視治療は屈折矯正、弱視治療、プリズム、手術などを組み合わせ、機能と生活の質を改善する。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「調節性内斜視の初期対応」は別の論点である。主な要点は「遠視矯正で調節要求と調節性輻湊が減少し、内斜視が改善する場合は調節性要素が強い。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0098 斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「視覚発達期に一眼が恒常的に偏位すると、その眼の像が抑制され視力発達が妨げられることがある。」

ア．間欠性外斜視

イ．斜視と弱視の関係

ウ．共同性斜視

エ．斜視を定義

答え・解説 正答：イ

ア：「間欠性外斜視」は別の論点である。主な要点は「間欠性外斜視では外方偏位傾向を融像で補い、状況により顕在化する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「斜視と弱視の関係」の要点を示している。視覚発達期に一眼が恒常的に偏位すると、その眼の像が抑制され視力発達が妨げられることがある。

ウ：「共同性斜視」は別の論点である。主な要点は「共同性斜視では各注視方向で偏位量が比較的一定で、小児発症の斜視などでみられる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「斜視を定義」は別の論点である。主な要点は「斜視では一眼または交互の眼が注視目標から外れ、両眼の視軸が一致しない。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0099 斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：応用

「斜視」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「成人発症では両眼視が確立後に像のずれが生じるため、複視として自覚しやすい。」

ア．斜視を定義

イ．成人急性斜視の複視

ウ．斜視と弱視の関係

エ．内斜視と外斜視

答え・解説 正答：イ

ア：「斜視を定義」は別の論点である。主な要点は「斜視では一眼または交互の眼が注視目標から外れ、両眼の視軸が一致しない。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「成人急性斜視の複視」の要点を示している。成人発症では両眼視が確立後に像のずれが生じるため、複視として自覚しやすい。

ウ：「斜視と弱視の関係」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に一眼が恒常的に偏位すると、その眼の像が抑制され視力発達が妨げられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「内斜視と外斜視」は別の論点である。主な要点は「内斜視では眼球が鼻側へ、外斜視では耳側へ偏位する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0100 斜視・弱視・眼球運動障害 > 斜視 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「眼位だけでなく視力、両眼視機能、複視、整容面や生活上の困難を改善する。斜視治療は屈折矯正、弱視治療、プリズム、手術などを組み合わせ、機能と生活の質を改善する。」

ア．内斜視と外斜視

イ．間欠性外斜視

ウ．斜視治療の目的

エ．調節性内斜視の初期対応

答え・解説 正答：ウ

ア：「内斜視と外斜視」は別の論点である。主な要点は「内斜視では眼球が鼻側へ、外斜視では耳側へ偏位する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「間欠性外斜視」は別の論点である。主な要点は「間欠性外斜視では外方偏位傾向を融像で補い、状況により顕在化する。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「斜視治療の目的」の要点を示している。眼位だけでなく視力、両眼視機能、複視、整容面や生活上の困難を改善する。斜視治療は屈折矯正、弱視治療、プリズム、手術などを組み合わせ、機能と生活の質を改善する。

エ：「調節性内斜視の初期対応」は別の論点である。主な要点は「遠視矯正で調節要求と調節性輻湊が減少し、内斜視が改善する場合は調節性要素が強い。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「斜視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0101 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「弱視は視覚発達期に生じる機能的視覚発達障害で、屈折異常・斜視・遮断などが原因となる。」

ア．弱視を定義
イ．遮閉治療の目的
ウ．視覚発達期の重要性
エ．弱視治療終了後の経過観察

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「弱視を定義」の要点を示している。弱視は視覚発達期に生じる機能的視覚発達障害で、屈折異常・斜視・遮断などが原因となる。
イ：「遮閉治療の目的」は別の論点である。主な要点は「健眼を一定時間遮閉することで弱視眼の使用を増やし、視力発達を促す。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「視覚発達期の重要性」は別の論点である。主な要点は「視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「弱視治療終了後の経過観察」は別の論点である。主な要点は「改善後も視覚発達が安定するまで視力・屈折・眼位を追跡し、再発を早期に捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0102 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「恒常性片眼斜視では偏位眼の視覚入力が抑制され、視覚発達が妨げられる。」

ア．遮閉治療の目的
イ．視覚発達期の重要性
ウ．弱視治療終了後の経過観察
エ．斜視弱視

答え・解説 正答：エ

ア：「遮閉治療の目的」は別の論点である。主な要点は「健眼を一定時間遮閉することで弱視眼の使用を増やし、視力発達を促す。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「視覚発達期の重要性」は別の論点である。主な要点は「視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「弱視治療終了後の経過観察」は別の論点である。主な要点は「改善後も視覚発達が安定するまで視力・屈折・眼位を追跡し、再発を早期に捉える。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「斜視弱視」の要点を示している。恒常性片眼斜視では偏位眼の視覚入力が抑制され、視覚発達が妨げられる。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0103 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：応用

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「視覚発達期に片眼へ慢性的な屈折性ぼけがあると、その眼の視覚発達が不十分となる。」

ア．遮閉治療の目的

イ．視覚発達期の重要性

ウ．弱視治療終了後の経過観察

エ．不同視弱視

答え・解説 正答：エ

ア：「遮閉治療の目的」は別の論点である。主な要点は「健眼を一定時間遮閉することで弱視眼の使用を増やし、視力発達を促す。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視覚発達期の重要性」は別の論点である。主な要点は「視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「弱視治療終了後の経過観察」は別の論点である。主な要点は「改善後も視覚発達が安定するまで視力・屈折・眼位を追跡し、再発を早期に捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「不同視弱視」の要点を示している。視覚発達期に片眼へ慢性的な屈折性ぼけがあると、その眼の視覚発達が不十分となる。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0104 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。
「乳幼児期の片眼性先天白内障。視覚発達期に明瞭な像が網膜へ届かないと、重度の弱視を生じる可能性がある。」

ア．視覚発達期の重要性

イ．遮閉治療の目的

ウ．形態覚遮断弱視

エ．弱視治療終了後の経過観察

答え・解説 正答：ウ

ア：「視覚発達期の重要性」は別の論点である。主な要点は「視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「遮閉治療の目的」は別の論点である。主な要点は「健眼を一定時間遮閉することで弱視眼の使用を増やし、視力発達を促す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「形態覚遮断弱視」の要点を示している。乳幼児期の片眼性先天白内障。視覚発達期に明瞭な像が網膜へ届かないと、重度の弱視を生じる可能性がある。

エ：「弱視治療終了後の経過観察」は別の論点である。主な要点は「改善後も視覚発達が安定するまで視力・屈折・眼位を追跡し、再発を早期に捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0105 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「屈折異常を十分に矯正することで視覚入力を改善し、その後必要に応じ遮閉や薬物的ペナライゼーション等を考える。」

ア．視覚発達期の重要性
イ．形態覚遮断弱視
ウ．弱視と器質疾患
エ．弱視治療の基本順序

答え・解説 正答：エ

ア：「視覚発達期の重要性」は別の論点である。主な要点は「視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「形態覚遮断弱視」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に明瞭な像が網膜へ届かないと、重度の弱視を生じる可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「弱視と器質疾患」は別の論点である。主な要点は「弱視は器質的原因だけでは説明できない発達性視力障害であり、診断は除外診断を含む。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「弱視治療の基本順序」の要点を示している。屈折異常を十分に矯正することで視覚入力を改善し、その後必要に応じ遮閉や薬物的ペナライゼーション等を考える。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0106 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：応用

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「健眼を一定時間遮閉することで弱視眼の使用を増やし、視力発達を促す。」

ア．遮閉治療の目的
イ．逆弱視
ウ．不同視弱視
エ．弱視と器質疾患

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「遮閉治療の目的」の要点を示している。健眼を一定時間遮閉することで弱視眼の使用を増やし、視力発達を促す。
イ：「逆弱視」は別の論点である。主な要点は「長時間・過剰な健眼遮閉では、視覚発達期の健眼側にも弱視が生じる可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「不同視弱視」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に片眼へ慢性的な屈折性ばげがあると、その眼の視覚発達が不十分となる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「弱視と器質疾患」は別の論点である。主な要点は「弱視は器質的原因だけでは説明できない発達性視力障害であり、診断は除外診断を含む。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0107 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：標準

「弱視」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「長時間・過剰な健眼遮閉では、視覚発達期の健眼側にも弱視が生じる可能性がある。」

ア．遮閉治療の目的
イ．視覚発達期の重要性
ウ．弱視治療終了後の経過観察
エ．逆弱視

答え・解説 正答：エ

ア：「遮閉治療の目的」は別の論点である。主な要点は「健眼を一定時間遮閉することで弱視眼の使用を増やし、視力発達を促す。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「視覚発達期の重要性」は別の論点である。主な要点は「視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「弱視治療終了後の経過観察」は別の論点である。主な要点は「改善後も視覚発達が安定するまで視力・屈折・眼位を追跡し、再発を早期に捉える。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「逆弱視」の要点を示している。長時間・過剰な健眼遮閉では、視覚発達期の健眼側にも弱視が生じる可能性がある。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0108 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「視覚系の可塑性が高い発達期ほど治療効果が得られやすい。視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」

ア．形態覚遮断弱視
イ．視覚発達期の重要性
ウ．弱視と器質疾患
エ．不同視弱視

答え・解説 正答：イ

ア：「形態覚遮断弱視」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に明瞭な像が網膜へ届かないと、重度の弱視を生じる可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「視覚発達期の重要性」の要点を示している。視覚系の可塑性が高い発達期ほど治療効果が得られやすい。視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。
ウ：「弱視と器質疾患」は別の論点である。主な要点は「弱視は器質的原因だけでは説明できない発達性視力障害であり、診断は除外診断を含む。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「不同視弱視」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に片眼へ慢性的な屈折性ばけがあると、その眼の視覚発達が不十分となる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0109 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「弱視は器質的原因だけでは説明できない発達性視力障害であり、診断は除外診断を含む。」

ア．弱視と器質疾患

イ．遮閉治療の目的

ウ．視覚発達期の重要性

エ．弱視治療終了後の経過観察

0110 斜視・弱視・眼球運動障害 > 弱視 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「改善後も視覚発達が安定するまで視力・屈折・眼位を追跡し、再発を早期に捉える。」

ア．形態覚遮断弱視

イ．視覚発達期の重要性

ウ．弱視と器質疾患

エ．弱視治療終了後の経過観察

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「弱視と器質疾患」の要点を示している。弱視は器質的原因だけでは説明できない発達性視力障害であり、診断は除外診断を含む。

イ：「遮閉治療の目的」は別の論点である。主な要点は「健眼を一定時間遮閉することで弱視眼の使用を増やし、視力発達を促す。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「視覚発達期の重要性」は別の論点である。主な要点は「視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「弱視治療終了後の経過観察」は別の論点である。主な要点は「改善後も視覚発達が安定するまで視力・屈折・眼位を追跡し、再発を早期に捉える。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

答え・解説 正答：エ

ア：「形態覚遮断弱視」は別の論点である。主な要点は「視覚発達期に明瞭な像が網膜へ届かないと、重度の弱視を生じる可能性がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「視覚発達期の重要性」は別の論点である。主な要点は「視覚発達には感受性期があり、早期発見・治療ほど良好な視力回復が期待しやすい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「弱視と器質疾患」は別の論点である。主な要点は「弱視は器質的原因だけでは説明できない発達性視力障害であり、診断は除外診断を含む。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「弱視治療終了後の経過観察」の要点を示している。改善後も視覚発達が安定するまで視力・屈折・眼位を追跡し、再発を早期に捉える。

総合解説：この問題は「弱視」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

0111

斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「眼振は眼位保持や前庭・視覚入力 of 異常などで生じる反復性眼球運動である。」

ア．jerk nystagmus

イ．滑車神経麻痺の頭位

ウ．眼振を定義

エ．pendular nystagmus

答え・解説

正答：ウ

ア：「jerk nystagmus」は別の論点である。主な要点は「jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「滑車神経麻痺の頭位」は別の論点である。主な要点は「右上斜筋麻痺では患側頭部傾斜で右眼上方偏位が増えやすく、反対側へ傾けて複視を減らすことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「眼振を定義」の要点を示している。眼振は眼位保持や前庭・視覚入力 of 異常などで生じる反復性眼球運動である。
エ：「pendular nystagmus」は別の論点である。主な要点は「pendular眼振ではjerk眼振のような明瞭な急速相・緩徐相の区別が乏しい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0112

斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「緩徐相と急速相をもつ。jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。」

ア．眼振を定義

イ．注視誘発眼振

ウ．jerk nystagmus

エ．滑車神経麻痺の頭位

答え・解説

正答：ウ

ア：「眼振を定義」は別の論点である。主な要点は「眼振は眼位保持や前庭・視覚入力 of 異常などで生じる反復性眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「注視誘発眼振」は別の論点である。主な要点は「注視保持機構の異常などで偏位眼位を維持できず、gaze-evoked nystagmusが生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「jerk nystagmus」の要点を示している。緩徐相と急速相をもつ。jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。
エ：「滑車神経麻痺の頭位」は別の論点である。主な要点は「右上斜筋麻痺では患側頭部傾斜で右眼上方偏位が増えやすく、反対側へ傾けて複視を減らすことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0113 斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「pendular眼振ではjerk眼振のような明瞭な急速相・緩徐相の区別が乏しい。」

ア．後天性眼振の緊急性

イ．pendular nystagmus

ウ．外転神経麻痺の眼球運動障害

エ．注視誘発眼振

0114 斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「注視保持機構の異常などで偏位眼位を維持できず、gaze-evoked nystagmusが生じることがある。」

ア．jerk nystagmus

イ．注視誘発眼振

ウ．滑車神経麻痺の頭位

エ．pendular nystagmus

答え・解説 正答：イ

ア：「後天性眼振の緊急性」は別の論点である。主な要点は「急性発症の眼振に神経症状を伴う場合、脳幹・小脳などの中枢病変を考える必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「pendular nystagmus」の要点を示している。pendular眼振ではjerk眼振のような明瞭な急速相・緩徐相の区別が乏しい。

ウ：「外転神経麻痺の眼球運動障害」は別の論点である。主な要点は「外転神経は外直筋を支配するため、障害で患眼外転が低下し内斜視・水平複視を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「注視誘発眼振」は別の論点である。主な要点は「注視保持機構の異常などで偏位眼位を維持できず、gaze-evoked nystagmusが生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「jerk nystagmus」は別の論点である。主な要点は「jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「注視誘発眼振」の要点を示している。注視保持機構の異常などで偏位眼位を維持できず、gaze-evoked nystagmusが生じることがある。

ウ：「滑車神経麻痺の頭位」は別の論点である。主な要点は「右上斜筋麻痺では患側頭部傾斜で右眼上方偏位が増えやすく、反対側へ傾けて複視を減らすことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「pendular nystagmus」は別の論点である。主な要点は「pendular眼振ではjerk眼振のような明瞭な急速相・緩徐相の区別が乏しい。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0115

斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：基礎

「眼球運動障害・眼振」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「先天性眼振では視線方向により眼振強度が変わり、最も安定する位置を利用して異常頭位を取ることがある。」

ア．滑車神経麻痺の頭位
イ．先天性眼振のnull point
ウ．眼窩拘束と神経麻痺を区別する視点
エ．外転神経麻痺の眼球運動障害

0116

斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「中枢神経系病変を含めて緊急評価する。急性発症の眼振に神経症状を伴う場合、脳幹・小脳などの中枢病変を考える必要がある。」

ア．pendular nystagmus
イ．jerk nystagmus
ウ．後天性眼振の緊急性
エ．外転神経麻痺の眼球運動障害

答え・解説

正答：イ

ア：「滑車神経麻痺の頭位」は別の論点である。主な要点は「右上斜筋麻痺では患側頭部傾斜で右眼上方偏位が増えやすく、反対側へ傾けて複視を減らすことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「先天性眼振のnull point」の要点を示している。先天性眼振では視線方向により眼振強度が変わり、最も安定する位置を利用して異常頭位を取ることがある。
ウ：「眼窩拘束と神経麻痺を区別する視点」は別の論点である。主な要点は「拘束性障害では筋・眼窩組織の硬化や腫大により眼球運動が機械的に制限される。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「外転神経麻痺の眼球運動障害」は別の論点である。主な要点は「外転神経は外直筋を支配するため、障害で患眼外転が低下し内斜視・水平複視を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ウ

ア：「pendular nystagmus」は別の論点である。主な要点は「pendular眼振ではjerk眼振のような明瞭な急速相・緩徐相の区別が乏しい。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「jerk nystagmus」は別の論点である。主な要点は「jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「後天性眼振の緊急性」の要点を示している。中枢神経系病変を含めて緊急評価する。急性発症の眼振に神経症状を伴う場合、脳幹・小脳などの中枢病変を考える必要がある。
エ：「外転神経麻痺の眼球運動障害」は別の論点である。主な要点は「外転神経は外直筋を支配するため、障害で患眼外転が低下し内斜視・水平複視を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0117

斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「外転神経は外直筋を支配するため、障害で患眼外転が低下し内斜視・水平複視を生じる。」

ア．pendular nystagmus

イ．外転神経麻痺の眼球運動障害

ウ．jerk nystagmus

エ．後天性眼振の緊急性

0118

斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「右上斜筋麻痺では患側頭部傾斜で右眼上方偏位が増えやすく、反対側へ傾けて複視を減らすことがある。」

ア．滑車神経麻痺の頭位

イ．眼振を定義

ウ．jerk nystagmus

エ．注視誘発眼振

答え・解説

正答：イ

ア：「pendular nystagmus」は別の論点である。主な要点は「pendular眼振ではjerk眼振のような明瞭な急速相・緩徐相の区別が乏しい。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「外転神経麻痺の眼球運動障害」の要点を示している。外転神経は外直筋を支配するため、障害で患眼外転が低下し内斜視・水平複視を生じる。

ウ：「jerk nystagmus」は別の論点である。主な要点は「jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「後天性眼振の緊急性」は別の論点である。主な要点は「急性発症の眼振に神経症状を伴う場合、脳幹・小脳などの中枢病変を考える必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「滑車神経麻痺の頭位」の要点を示している。右上斜筋麻痺では患側頭部傾斜で右眼上方偏位が増えやすく、反対側へ傾けて複視を減らすことがある。

イ：「眼振を定義」は別の論点である。主な要点は「眼振は眼位保持や前庭・視覚入力の変位などで生じる反復性眼球運動である。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「jerk nystagmus」は別の論点である。主な要点は「jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「注視誘発眼振」は別の論点である。主な要点は「注視保持機構の変位などで偏位眼位を維持できず、gaze-evoked nystagmusが生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0119 斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：標準

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「拘束性障害では筋・眼窩組織の硬化や腫大により眼球運動が機械的に制限される。」

ア．眼窩拘束と神経麻痺を区別する視点

イ．jerk nystagmus

ウ．pendular nystagmus

エ．後天性眼振の緊急性

0120 斜視・弱視・眼球運動障害 > 眼球運動障害・眼振 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「正面視だけでなく、眼振が減弱する視線方向や頭位でも見え方を確認する。null pointがある場合、日常の異常頭位と視力が関連するため、眼振強度と視機能を合わせて評価する。」

ア．jerk nystagmus

イ．pendular nystagmus

ウ．外転神経麻痺の眼球運動障害

エ．眼振患者の視機能評価

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「眼窩拘束と神経麻痺を区別する視点」の要点を示している。拘束性障害では筋・眼窩組織の硬化や腫大により眼球運動が機械的に制限される。

イ：「jerk nystagmus」は別の論点である。主な要点は「jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「pendular nystagmus」は別の論点である。主な要点は「pendular眼振ではjerk眼振のような明瞭な急速相・緩徐相の区別が乏しい。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「後天性眼振の緊急性」は別の論点である。主な要点は「急性発症の眼振に神経症状を伴う場合、脳幹・小脳などの中枢病変を考える必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「jerk nystagmus」は別の論点である。主な要点は「jerk眼振はゆっくり偏位する緩徐相と、位置を戻す急速相からなる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「pendular nystagmus」は別の論点である。主な要点は「pendular眼振ではjerk眼振のような明瞭な急速相・緩徐相の区別が乏しい。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「外転神経麻痺の眼球運動障害」は別の論点である。主な要点は「外転神経は外直筋を支配するため、障害で患眼外転が低下し内斜視・水平複視を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「眼振患者の視機能評価」の要点を示している。正面視だけでなく、眼振が減弱する視線方向や頭位でも見え方を確認する。null pointがある場合、日常の異常頭位と視力が関連するため、眼振強度と視機能を合わせて評価する。

総合解説：この問題は「眼球運動障害・眼振」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0121 その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「代表的なprotan/deutan系の先天赤緑色覚異常はX連鎖性遺伝を示し、男性で頻度が高い。」

ア．近視
イ．調節lag
ウ．先天赤緑色覚異常の特徴
エ．乱視

0122 その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「protan系では長波長感受性のL錐体機能異常が中心となる。」

ア．protanとdeutanの違い
イ．近視
ウ．遠視
エ．乱視

答え・解説 正答：ウ

ア：「近視」は別の論点である。主な要点は「近視では眼の総屈折力が眼軸長に対して強く、遠方平行光線が網膜前方に結像する。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「調節lag」は別の論点である。主な要点は「必要な調節量に対し実際の反応量が不足する状態をlag of accommodationという。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「先天赤緑色覚異常の特徴」の要点を示している。代表的なprotan/deutan系の先天赤緑色覚異常はX連鎖性遺伝を示し、男性で頻度が高い。
エ：「乱視」は別の論点である。主な要点は「正乱視では主経線の屈折力差により一点結像せず、円柱レンズで補正できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「protanとdeutanの違い」の要点を示している。protan系では長波長感受性のL錐体機能異常が中心となる。
イ：「近視」は別の論点である。主な要点は「近視では眼の総屈折力が眼軸長に対して強く、遠方平行光線が網膜前方に結像する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「遠視」は別の論点である。主な要点は「遠視では屈折力が眼軸長に対して弱く、若年者では調節で一部を補うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「乱視」は別の論点である。主な要点は「正乱視では主経線の屈折力差により一点結像せず、円柱レンズで補正できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0123

その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：標準

「色覚・屈折・調節異常」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「後天性色覚異常は網膜・視神経疾患や薬剤などに伴い、片眼性・非対称性・進行性となることがある。」

ア．後天性色覚異常の特徴
イ．近視
ウ．調節lag
エ．乱視

0124

その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「近視では眼の総屈折力が眼軸長に対して強く、遠方平行光線が網膜前方に結像する。」

ア．先天赤緑色覚異常の特徴
イ．protanとdeutanの違い
ウ．後天性色覚異常の特徴
エ．近視

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「後天性色覚異常の特徴」の要点を示している。後天性色覚異常は網膜・視神経疾患や薬剤などに伴い、片眼性・非対称性・進行性となることがある。
イ：「近視」は別の論点である。主な要点は「近視では眼の総屈折力が眼軸長に対して強く、遠方平行光線が網膜前方に結像する。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「調節lag」は別の論点である。主な要点は「必要な調節量に対し実際の反応量が不足する状態をlag of accommodationという。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「乱視」は別の論点である。主な要点は「正乱視では主経線の屈折力差により一点結像せず、円柱レンズで補正できる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：エ

ア：「先天赤緑色覚異常の特徴」は別の論点である。主な要点は「代表的なprotan/deutan系の先天赤緑色覚異常はX連鎖性遺伝を示し、男性で頻度が高い。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「protanとdeutanの違い」は別の論点である。主な要点は「protan系では長波長感受性のL錐体機能異常が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「後天性色覚異常の特徴」は別の論点である。主な要点は「後天性色覚異常は網膜・視神経疾患や薬剤などに伴い、片眼性・非対称性・進行性となることがある。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「近視」の要点を示している。近視では眼の総屈折力が眼軸長に対して強く、遠方平行光線が網膜前方に結像する。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0125 その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：基礎

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「遠視では屈折力が眼軸長に対して弱く、若年者では調節で一部を補うことがある。」

ア．protanとdeutanの違い
イ．遠視
ウ．調節不全の症状
エ．先天赤緑色覚異常の特徴

答え・解説 正答：イ

ア：「protanとdeutanの違い」は別の論点である。主な要点は「protan系では長波長感受性のL錐体機能異常が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「遠視」の要点を示している。遠視では屈折力が眼軸長に対して弱く、若年者では調節で一部を補うことがある。
ウ：「調節不全の症状」は別の論点である。主な要点は「調節力が近見要求に不足すると、読書や近業で持続的明視が困難になる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「先天赤緑色覚異常の特徴」は別の論点である。主な要点は「代表的なprotan/deutan系の先天赤緑色覚異常はX連鎖性遺伝を示し、男性で頻度が高い。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0126 その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：応用

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「正乱視では主経線の屈折力差により一点結像せず、円柱レンズで補正できる。」

ア．乱視
イ．protanとdeutanの違い
ウ．調節lag
エ．調節不全の症状

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「乱視」の要点を示している。正乱視では主経線の屈折力差により一点結像せず、円柱レンズで補正できる。
イ：「protanとdeutanの違い」は別の論点である。主な要点は「protan系では長波長感受性のL錐体機能異常が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「調節lag」は別の論点である。主な要点は「必要な調節量に対し実際の反応量が不足する状態をlag of accommodationという。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「調節不全の症状」は別の論点である。主な要点は「調節力が近見要求に不足すると、読書や近業で持続的明視が困難になる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0127 その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：応用

次の内容と最も結び付く見出しはどれか。
「加齢により水晶体の弾性や調節系の能力が低下し、近見に必要な調節が不足する。」

ア．老視の病態

イ．調節lag

ウ．protanとdeutanの違い

エ．先天赤緑色覚異常の特徴

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「老視の病態」の要点を示している。加齢により水晶体の弾性や調節系の能力が低下し、近見に必要な調節が不足する。

イ：「調節lag」は別の論点である。主な要点は「必要な調節量に対し実際の反応量が不足する状態をlag of accommodationという。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「protanとdeutanの違い」は別の論点である。主な要点は「protan系では長波長感受性のL錐体機能異常が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「先天赤緑色覚異常の特徴」は別の論点である。主な要点は「代表的なprotan/deutan系の先天赤緑色覚異常はX連鎖性遺伝を示し、男性で頻度が高い。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0128 その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なものはどれか。
「近見作業でのぼやけ、眼精疲労、頭痛。調節力が近見要求に不足すると、読書や近業で持続的明視が困難になる。」

ア．近視

イ．遠視

ウ．乱視

エ．調節不全の症状

答え・解説 正答：エ

ア：「近視」は別の論点である。主な要点は「近視では眼の総屈折力が眼軸長に対して強く、遠方平行光線が網膜前方に結像する。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「遠視」は別の論点である。主な要点は「遠視では屈折力が眼軸長に対して弱く、若年者では調節で一部を補うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「乱視」は別の論点である。主な要点は「正乱視では主経線の屈折力差により一点結像せず、円柱レンズで補正できる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「調節不全の症状」の要点を示している。近見作業でのぼやけ、眼精疲労、頭痛。調節力が近見要求に不足すると、読書や近業で持続的明視が困難になる。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0129 その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「必要な調節量に対し実際の反応量が不足する状態をlag of accommodationという。」

ア．先天赤緑色覚異常の特徴

イ．調節lag

ウ．後天性色覚異常の特徴

エ．近視

0130 その他の視能障害・予防 > 色覚・屈折・調節異常 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「屈折異常は世界的にも主要な視覚障害原因で、適切な眼鏡等で改善可能なことが多い。」

ア．屈折異常の視機能予防上の重要性

イ．調節lag

ウ．protanとdeutanの違い

エ．老視の病態

答え・解説 正答：イ

ア：「先天赤緑色覚異常の特徴」は別の論点である。主な要点は「代表的なprotan/deutan系の先天赤緑色覚異常はX連鎖性遺伝を示し、男性で頻度が高い。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「調節lag」の要点を示している。必要な調節量に対し実際の反応量が不足する状態をlag of accommodationという。

ウ：「後天性色覚異常の特徴」は別の論点である。主な要点は「後天性色覚異常は網膜・視神経疾患や薬剤などに伴い、片眼性・非対称性・進行性となることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「近視」は別の論点である。主な要点は「近視では眼の総屈折力が眼軸長に対して強く、遠方平行光線が網膜前方に結像する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「屈折異常の視機能予防上の重要性」の要点を示している。屈折異常は世界的にも主要な視覚障害原因で、適切な眼鏡等で改善可能なことが多い。

イ：「調節lag」は別の論点である。主な要点は「必要な調節量に対し実際の反応量が不足する状態をlag of accommodationという。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「protanとdeutanの違い」は別の論点である。主な要点は「protan系では長波長感受性のL錐体機能異常が中心となる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「老視の病態」は別の論点である。主な要点は「加齢により水晶体の弾性や調節系の能力が低下し、近見に必要な調節が不足する。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「色覚・屈折・調節異常」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0131 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：応用

「全身疾患と眼・身体症状症」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「Marfan症候群ではFBN1異常に関連する毛様小帯脆弱性により水晶体偏位を生じることがある。」

ア．機能性視覚障害

イ．機能性視覚障害が除外診断であること

ウ．Marfan症候群の眼所見

エ．非対立的な説明

0132 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：応用

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「網膜細動脈狭細化、動静脈交叉現象、出血、綿花様白斑。持続・高度高血圧は網膜血管に狭窄や硬化、虚血・漏出性変化を生じる。」

ア．Wilson病の眼所見

イ．高血圧網膜症

ウ．機能性視覚障害

エ．機能性視覚障害が除外診断であること

答え・解説 正答：ウ

ア：「機能性視覚障害」は別の論点である。主な要点は「機能性視覚障害では自覚症状と視機能・構造所見の間に不一致がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「機能性視覚障害が除外診断であること」は別の論点である。主な要点は「所見の不一致があっても、まず視力低下を説明し得る器質疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「Marfan症候群の眼所見」の要点を示している。Marfan症候群ではFBN1異常に関連する毛様小帯脆弱性により水晶体偏位を生じることがある。

エ：「非対立的な説明」は別の論点である。主な要点は「機能性視覚障害では患者を責めたり虚偽と決めつけたりせず、安心を与える非対立的対応が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「Wilson病の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Wilson病では銅が角膜Descemet膜へ沈着し、周辺角膜にKayser-Fleischer ringを形成することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「高血圧網膜症」の要点を示している。網膜細動脈狭細化、動静脈交叉現象、出血、綿花様白斑。持続・高度高血圧は網膜血管に狭窄や硬化、虚血・漏出性変化を生じる。

ウ：「機能性視覚障害」は別の論点である。主な要点は「機能性視覚障害では自覚症状と視機能・構造所見の間に不一致がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「機能性視覚障害が除外診断であること」は別の論点である。主な要点は「所見の不一致があっても、まず視力低下を説明し得る器質疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0133 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「乳頭浮腫を伴う重症高血圧網膜症は標的臓器障害を示し、全身的緊急対応が必要となる。」

ア．非対立的な説明

イ．悪性高血圧の眼所見

ウ．関節リウマチと眼病変

エ．機能的視覚障害が除外診断であること

0134 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「Wilson病では銅が角膜Descemet膜へ沈着し、周辺角膜にKayser-Fleischer ringを形成することがある。」

ア．高血圧網膜症

イ．機能的視覚障害

ウ．機能的視覚障害が除外診断であること

エ．Wilson病の眼所見

答え・解説 正答：イ

ア：「非対立的な説明」は別の論点である。主な要点は「機能的視覚障害では患者を責めたり虚偽と決めつけたりせず、安心を与える非対立的対応が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「悪性高血圧の眼所見」の要点を示している。乳頭浮腫を伴う重症高血圧網膜症は標的臓器障害を示し、全身的緊急対応が必要となる。

ウ：「関節リウマチと眼病変」は別の論点である。主な要点は「関節リウマチなど自己免疫疾患では強膜炎を合併することがあり、深い疼痛を伴う充血は重要な手掛かりとなる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「機能的視覚障害が除外診断であること」は別の論点である。主な要点は「所見の不一致があっても、まず視力低下を説明し得る器質疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「高血圧網膜症」は別の論点である。主な要点は「持続・高度高血圧は網膜血管に狭窄や硬化、虚血・漏出性変化を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「機能的視覚障害」は別の論点である。主な要点は「機能的視覚障害では自覚症状と視機能・構造所見の間に不一致がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「機能的視覚障害が除外診断であること」は別の論点である。主な要点は「所見の不一致があっても、まず視力低下を説明し得る器質疾患を除外する必要がある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「Wilson病の眼所見」の要点を示している。Wilson病では銅が角膜Descemet膜へ沈着し、周辺角膜にKayser-Fleischer ringを形成することがある。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0135 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：基礎

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「関節リウマチなど自己免疫疾患では強膜炎を合併することがあり、深い疼痛を伴う充血は重要な手掛かりとなる。」

ア．機能性視覚障害

イ．関節リウマチと眼病変

ウ．非対立的な説明

エ．高血圧網膜症

0136 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：基礎

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「訴える視覚障害の程度が確認できる器質的所見だけでは十分に説明できない状態。機能性視覚障害では自覚症状と視機能・構造所見の間に不一致がみられることがある。」

ア．Marfan症候群の眼所見

イ．高血圧網膜症

ウ．機能性視覚障害

エ．Wilson病の眼所見

答え・解説 正答：イ

ア：「機能性視覚障害」は別の論点である。主な要点は「機能性視覚障害では自覚症状と視機能・構造所見の間に不一致がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「関節リウマチと眼病変」の要点を示している。関節リウマチなど自己免疫疾患では強膜炎を合併することがあり、深い疼痛を伴う充血は重要な手掛かりとなる。

ウ：「非対立的な説明」は別の論点である。主な要点は「機能性視覚障害では患者を責めたり虚偽と決めつけたりせず、安心を与える非対立的対応が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「高血圧網膜症」は別の論点である。主な要点は「持続・高度高血圧は網膜血管に狭窄や硬化、虚血・漏出性変化を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「Marfan症候群の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Marfan症候群ではFBN1異常に関連する毛様小帯脆弱性により水晶体偏位を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「高血圧網膜症」は別の論点である。主な要点は「持続・高度高血圧は網膜血管に狭窄や硬化、虚血・漏出性変化を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：この説明は「機能性視覚障害」の要点を示している。訴える視覚障害の程度が確認できる器質的所見だけでは十分に説明できない状態。機能性視覚障害では自覚症状と視機能・構造所見の間に不一致がみられることがある。

エ：「Wilson病の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Wilson病では銅が角膜Descemet膜へ沈着し、周辺角膜にKayser-Fleischer ringを形成することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0137 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：標準

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「所見の不一致があっても、まず視力低下を説明し得る器質疾患を除外する必要がある。」

ア．Marfan症候群の眼所見

イ．機能性視覚障害が除外診断であること

ウ．高血圧網膜症

エ．Wilson病の眼所見

0138 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：標準

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「機能性視覚障害では患者を責めたり虚偽と決めつけたりせず、安心を与える非対立的対応が重要である。」

ア．Marfan症候群の眼所見

イ．高血圧網膜症

ウ．Wilson病の眼所見

エ．非対立的な説明

答え・解説 正答：イ

ア：「Marfan症候群の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Marfan症候群ではFBN1異常に関連する毛様小帯脆弱性により水晶体偏位を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「機能性視覚障害が除外診断であること」の要点を示している。所見の不一致があっても、まず視力低下を説明し得る器質疾患を除外する必要がある。

ウ：「高血圧網膜症」は別の論点である。主な要点は「持続・高度高血圧は網膜血管に狭窄や硬化、虚血・漏出性変化を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Wilson病の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Wilson病では銅が角膜Descemet膜へ沈着し、周辺角膜にKayser-Fleischer ringを形成することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「Marfan症候群の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Marfan症候群ではFBN1異常に関連する毛様小帯脆弱性により水晶体偏位を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：「高血圧網膜症」は別の論点である。主な要点は「持続・高度高血圧は網膜血管に狭窄や硬化、虚血・漏出性変化を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Wilson病の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Wilson病では銅が角膜Descemet膜へ沈着し、周辺角膜にKayser-Fleischer ringを形成することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：この説明は「非対立的な説明」の要点を示している。機能性視覚障害では患者を責めたり虚偽と決めつけたりせず、安心を与える非対立的対応が重要である。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0139 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：標準

「全身疾患と眼・身体症状症」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「視覚路の解剖・生理では説明しにくい一貫性の欠如は機能性障害の手掛かりとなるが、器質疾患除外が前提である。」

ア．検査不一致を機能性視覚障害の手掛かりとして説明

イ．高血圧網膜症

ウ．Marfan症候群の眼所見

エ．Wilson病の眼所見

答え・解説 正答：ア

ア：この説明は「検査不一致を機能性視覚障害の手掛かりとして説明」の要点を示している。視覚路の解剖・生理では説明しにくい一貫性の欠如は機能性障害の手掛かりとなるが、器質疾患除外が前提である。

イ：「高血圧網膜症」は別の論点である。主な要点は「持続・高度高血圧は網膜血管に狭窄や硬化、虚血・漏出性変化を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「Marfan症候群の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Marfan症候群ではFBN1異常に関連する毛様小帯脆弱性により水晶体偏位を生じることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Wilson病の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Wilson病では銅が角膜Descemet膜へ沈着し、周辺角膜にKayser-Fleischer ringを形成することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0140 その他の視能障害・予防 > 全身疾患と眼・身体症状症 | 難易度：標準

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「神経筋接合部疾患など全身性病態を含めて評価する。変動性の眼瞼下垂・複視は眼筋型重症筋無力症などでみられ、眼局所だけでなく全身病態を考える必要がある。」

ア．機能性視覚障害

イ．全身症状と眼症状を統合して評価

ウ．非対立的な説明

エ．Wilson病の眼所見

答え・解説 正答：イ

ア：「機能性視覚障害」は別の論点である。主な要点は「機能性視覚障害では自覚症状と視機能・構造所見の間に不一致がみられることがある。」で、今回の説明とは一致しない。

イ：この説明は「全身症状と眼症状を統合して評価」の要点を示している。神経筋接合部疾患など全身性病態を含めて評価する。変動性の眼瞼下垂・複視は眼筋型重症筋無力症などでみられ、眼局所だけでなく全身病態を考える必要がある。

ウ：「非対立的な説明」は別の論点である。主な要点は「機能性視覚障害では患者を責めたり虚偽と決めつけたりせず、安心を与える非対立的対応が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「Wilson病の眼所見」は別の論点である。主な要点は「Wilson病では銅が角膜Descemet膜へ沈着し、周辺角膜にKayser-Fleischer ringを形成することがある。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「全身疾患と眼・身体症状症」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0141 その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：標準

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロボーマなど他の形成異常を伴うことがある。」

ア．ROPの危険因子
イ．ROPスクリーニングの意義
ウ．弱視予防の基本
エ．小眼球

0142 その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：基礎

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「眼杯裂が正常に閉鎖しないと虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じる。」

ア．白色瞳孔を重要所見として説明
イ．小眼球
ウ．コロボーマの発生機序
エ．世界的な視覚障害予防の主要課題

答え・解説 正答：エ

ア：「ROPの危険因子」は別の論点である。主な要点は「未熟な網膜血管発達を背景に、早産・低出生体重などでROPリスクが高まる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「ROPスクリーニングの意義」は別の論点である。主な要点は「未熟児では進行病変を早期発見し、治療適応を逃さないことが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「弱視予防の基本」は別の論点である。主な要点は「弱視は早期に原因を取り除き、明瞭な視覚入力を確保することで予防・改善が期待できる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「小眼球」の要点を示している。小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロボーマなど他の形成異常を伴うことがある。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：ウ

ア：「白色瞳孔を重要所見として説明」は別の論点である。主な要点は「白色瞳孔は先天白内障、網膜芽細胞腫など重大疾患のサインとなるため早期評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「小眼球」は別の論点である。主な要点は「小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロボーマなど他の形成異常を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「コロボーマの発生機序」の要点を示している。眼杯裂が正常に閉鎖しないと虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じる。
エ：「世界的な視覚障害予防の主要課題」は別の論点である。主な要点は「WHOは未矯正屈折異常と白内障を主要な視覚障害・失明原因として挙げており、眼鏡や手術へのアクセス改善が重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0143

その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：標準

次の内容と最も結びつく見出しはどれか。
「乳幼児期に網膜へ明瞭な像が届かない期間が長いと、視覚皮質発達が阻害され重度弱視となる。」

ア．先天白内障の視覚発達への影響

イ．小眼球

ウ．二次予防として定期眼科検査の意義

エ．白色瞳孔を重要所見として説明

0144

その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：標準

この説明が扱う中心論点として最も適切なのはどれか。
「白色瞳孔を来す先天白内障や網膜疾患などを疑い、速やかに眼科評価する。白色瞳孔は先天白内障、網膜芽細胞腫など重大疾患のサインとなるため早期評価が必要である。」

ア．白色瞳孔を重要所見として説明

イ．ROPの危険因子

ウ．コロボーマの発生機序

エ．ROPスクリーニングの意義

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「先天白内障の視覚発達への影響」の要点を示している。乳幼児期に網膜へ明瞭な像が届かない期間が長いと、視覚皮質発達が阻害され重度弱視となる。

イ：「小眼球」は別の論点である。主な要点は「小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロボーマなど他の形成異常を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「二次予防として定期眼科検査の意義」は別の論点である。主な要点は「慢性眼疾患は初期に自覚症状が乏しいことがあり、定期的な眼底・眼圧・視野等の評価が進行抑制に重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「白色瞳孔を重要所見として説明」は別の論点である。主な要点は「白色瞳孔は先天白内障、網膜芽細胞腫など重大疾患のサインとなるため早期評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説

正答：ア

ア：この説明は「白色瞳孔を重要所見として説明」の要点を示している。白色瞳孔を来す先天白内障や網膜疾患などを疑い、速やかに眼科評価する。白色瞳孔は先天白内障、網膜芽細胞腫など重大疾患のサインとなるため早期評価が必要である。

イ：「ROPの危険因子」は別の論点である。主な要点は「未熟な網膜血管発達を背景に、早産・低出生体重などでROPリスクが高まる。」で、今回の説明とは一致しない。

ウ：「コロボーマの発生機序」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂が正常に閉鎖しないと虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

エ：「ROPスクリーニングの意義」は別の論点である。主な要点は「未熟児では進行病変を早期発見し、治療適応を逃さないことが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0145 その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：応用

次の説明が示している学習項目として最も適切なのはどれか。
「未熟な網膜血管発達を背景に、早産・低出生体重などでROPリスクが高まる。」

ア．小眼球
イ．白色瞳孔を重要所見として説明
ウ．視覚障害予防を生活機能支援まで含めて説明
エ．ROPの危険因子

答え・解説 正答：エ

ア：「小眼球」は別の論点である。主な要点は「小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロバーマなど他の形成異常を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「白色瞳孔を重要所見として説明」は別の論点である。主な要点は「白色瞳孔は先天白内障、網膜芽細胞腫など重大疾患のサインとなるため早期評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「視覚障害予防を生活機能支援まで含めて説明」は別の論点である。主な要点は「疾患の発症・進行予防に加え、不可逆的視覚障害ではリハビリテーションにより二次的な生活機能低下を防ぐことが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「ROPの危険因子」の要点を示している。未熟な網膜血管発達を背景に、早産・低出生体重などでROPリスクが高まる。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0146 その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：基礎

学習ノートに次の記述がある。内容を整理する見出しとして最も適切なのはどれか。
「未熟児では進行病変を早期発見し、治療適応を逃さないことが重要である。」

ア．小眼球
イ．白色瞳孔を重要所見として説明
ウ．視覚障害予防を生活機能支援まで含めて説明
エ．ROPスクリーニングの意義

答え・解説 正答：エ

ア：「小眼球」は別の論点である。主な要点は「小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロバーマなど他の形成異常を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「白色瞳孔を重要所見として説明」は別の論点である。主な要点は「白色瞳孔は先天白内障、網膜芽細胞腫など重大疾患のサインとなるため早期評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「視覚障害予防を生活機能支援まで含めて説明」は別の論点である。主な要点は「疾患の発症・進行予防に加え、不可逆的視覚障害ではリハビリテーションにより二次的な生活機能低下を防ぐことが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「ROPスクリーニングの意義」の要点を示している。未熟児では進行病変を早期発見し、治療適応を逃さないことが重要である。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0147 その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：標準

「眼先天異常・失明（視能障害）予防」を復習している。次の要点に最も直接対応する論点はどれか。
「弱視は早期に原因を取り除き、明瞭な視覚入力を確保することで予防・改善が期待できる。」

ア．小眼球
イ．白色瞳孔を重要所見として説明
ウ．弱視予防の基本
エ．コロボーマの発生機序

0148 その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：基礎

次の記述を正しく分類するとき、最も適切な学習項目はどれか。
「WHOは未矯正屈折異常と白内障を主要な視覚障害・失明原因として挙げており、眼鏡や手術へのアクセス改善が重要である。」

ア．小眼球
イ．世界的な視覚障害予防の主要課題
ウ．コロボーマの発生機序
エ．ROPスクリーニングの意義

答え・解説 正答：ウ

ア：「小眼球」は別の論点である。主な要点は「小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロボーマなど他の形成異常を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「白色瞳孔を重要所見として説明」は別の論点である。主な要点は「白色瞳孔は先天白内障、網膜芽細胞腫など重大疾患のサインとなるため早期評価が必要である。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：この説明は「弱視予防の基本」の要点を示している。弱視は早期に原因を取り除き、明瞭な視覚入力を確保することで予防・改善が期待できる。
エ：「コロボーマの発生機序」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂が正常に閉鎖しないと虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：イ

ア：「小眼球」は別の論点である。主な要点は「小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロボーマなど他の形成異常を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「世界的な視覚障害予防の主要課題」の要点を示している。WHOは未矯正屈折異常と白内障を主要な視覚障害・失明原因として挙げており、眼鏡や手術へのアクセス改善が重要である。
ウ：「コロボーマの発生機序」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂が正常に閉鎖しないと虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「ROPスクリーニングの意義」は別の論点である。主な要点は「未熟児では進行病変を早期発見し、治療適応を逃さないことが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

0149 その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：応用

視能訓練士国家試験の学習で次の内容を確認した。対応する論点はどれか。
「慢性眼疾患は初期に自覚症状が乏しいことがあり、定期的な眼底・眼圧・視野等の評価が進行抑制に重要である。」

ア．先天白内障の視覚発達への影響
イ．二次予防として定期眼科検査の意義
ウ．ROPの危険因子
エ．コロボーマの発生機序

0150 その他の視能障害・予防 > 眼先天異常・失明（視能障害）予防 | 難易度：標準

次の説明を根拠に、優先して復習すべき学習項目を選べ。
「疾患の発症・進行予防に加え、不可逆的視覚障害ではリハビリテーションにより二次的な生活機能低下を防ぐことが重要である。」

ア．小眼球
イ．ROPの危険因子
ウ．ROPスクリーニングの意義
エ．視覚障害予防を生活機能支援まで含めて説明

答え・解説 正答：イ

ア：「先天白内障の視覚発達への影響」は別の論点である。主な要点は「乳幼児期に網膜へ明瞭な像が届かない期間が長いと、視覚皮質発達が阻害され重度弱視となる。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：この説明は「二次予防として定期眼科検査の意義」の要点を示している。慢性眼疾患は初期に自覚症状が乏しいことがあり、定期的な眼底・眼圧・視野等の評価が進行抑制に重要である。
ウ：「ROPの危険因子」は別の論点である。主な要点は「未熟な網膜血管発達を背景に、早産・低出生体重などでROPリスクが高まる。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：「コロボーマの発生機序」は別の論点である。主な要点は「眼杯裂が正常に閉鎖しないと虹彩・脈絡膜・網膜・視神経などに欠損を生じる。」で、今回の説明とは一致しない。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08

答え・解説 正答：エ

ア：「小眼球」は別の論点である。主な要点は「小眼球は眼発生異常により眼球サイズが小さく、コロボーマなど他の形成異常を伴うことがある。」で、今回の説明とは一致しない。
イ：「ROPの危険因子」は別の論点である。主な要点は「未熟な網膜血管発達を背景に、早産・低出生体重などでROPリスクが高まる。」で、今回の説明とは一致しない。
ウ：「ROPスクリーニングの意義」は別の論点である。主な要点は「未熟児では進行病変を早期発見し、治療適応を逃さないことが重要である。」で、今回の説明とは一致しない。
エ：この説明は「視覚障害予防を生活機能支援まで含めて説明」の要点を示している。疾患の発症・進行予防に加え、不可逆的視覚障害ではリハビリテーションにより二次的な生活機能低下を防ぐことが重要である。

総合解説：この問題は「眼先天異常・失明（視能障害）予防」内の関連概念を、説明から論点へ逆引きして整理する問題である。似た概念を要点で区別できるようにする。

対象：令和9年版視能訓練士国家試験出題基準 | 基準日 2026-09-08